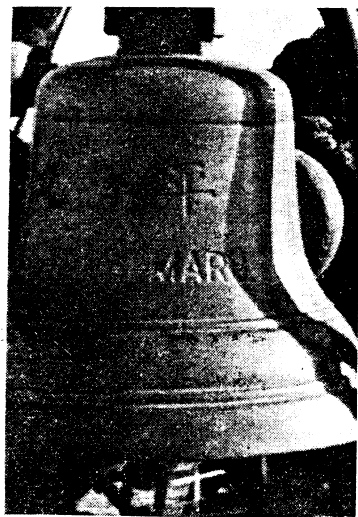


水泳

1934 NO 25

日本水上競技聯盟機關誌





水 泳

NO. 25

JULY 1934



水泳 第25號 ● 目次 ●

極東大會解消と東洋大會の設立	安部輝太郎	(2)	
極東大會水上記	松本隆重	(5)	
極東大會雜感	鶴岡英吉	(12)	
マニラ漂流記	木村象雷	(16)	
麻尼羅陣中まんろく集		(17)	
暑熱回想之記	松澤一鶴	(18)	
早慶對抗水上競技	齋藤巍洋	(20)	
早慶戦の飛込	山内辰雄	(22)	
三大學對抗水上競技	宏道洋一	(23)	
早關對抗水上競技		(25)	
太田正隆博士の長逝を悼む	石本己四雄	(26)	
消 息 欄		(27)	
水球理論の研究	時任 嚴	(28)	
標準泳法問答	原 正 一	(32)	
本年度上半期・水泳世界十傑	飯田光太郎	(36)	
海外情報・歐米の水泳界		(41)	
會報・昭和九年度日本選手權水上競技要項		(42)	
特別參助表紙及び題字	池田木一	漫 畫	中尾やよひ

と消解大會東極 立設大會洋東

安部輝太郎

今回種々問題のやかましかつた、「マニラ」の極東大會に日本代表として使した行き掛り上、茲に吾が水泳同好の士に一つには経過と結果とを御報告する次第である。

遠征出發前後の滿洲國參加問題に搦む事情は折々發表されて居るし小生餘り興味を持たぬから茲には省略する。唯、水上聯盟直屬の小生等が代表として遠征に加はるに至つたのは、田畑松澤兩氏等が從來大日本體育協會の要職に在り此の問題にも直接の當事者となつて活躍されて居つた關係上、是非小生に代表の役目を務めて欲しいとの話から、小生は私的な事情を排して水上聯盟の精神の延長の様な氣持で引受けて働いて來たのである。

今度の遠征が單に競技的な遠征に止まらず、極東大會改造、滿洲國參加といふ目的があつたため、行けば酷く忙しいことは覺悟の上ではあつたが、扱て實際やつて見ると、果して豫想以上で出發してから競技開始迄は極東大會會議に對する外交準備工作及之に關する日本體協との電報打合せ、チームの到着準備(宿舍の便所の紙に至る迄)、各競技の練習及競技に關する技術的打合せ等實に「用事」といふものはあればあるものだといふ程呆れる始末。

愈々競技が初まると毎日二三通宛の抗議やら警告やらを出さねばならぬ次第、此の間マニラの新聞、在留同胞の後援會との打合せ等殺到して、一日が廿四時間で、口が一つ手足が二本宛つしか無いのが恨しい様な日が續いた。

從而眠るとか食事をすると云ふ事は、出來れば幸ひと言ふ程度で、兎に角へタバル迄やらうといふので通して了つたが御蔭で人間の頭や體は案外亂暴に取扱つても壊れないといふことが判つた。例へば、そんな忙しい日が續いた最後の五月廿日などは前夜も拳鬪の誤審問題等で五時間位しか眠つてゐない處へ朝の八時から翌廿一日午前四時迄、パンを一切食べた丈けで會議に、其他に東奔西走して又廿一

日は朝六時から再び東奔西走、九時から會議で、又全然朝晝の食事抜きで午後二時半迄頑張り岸壁に待ち兼ねて居た平洋丸に馳け付け、やつと夕飯にありついた様な有様で流石に其夜の報告會には小生の言ふことが前後朦朧として居つたさうである。

一方比島側代表も競技會の終りに又大問題を控えて活躍したため矢張り廿一日の會議のとき等目付きが違つて了つて居つた。

閑話休題、表記の「解消、新設」の経過に移らう吾々代表部は日本を出る當時から體協留守軍と常に一致した見解と方針の下に次のことを爲さうとして居つたのである。即ち

- 一、極東大會の現法憲法を改正し、之によつて滿洲國の正式參加を認めしめ、而して右大會の競技的内容をもつと進歩させて其の意義を深める事。
- 二、若し支那が會議退席等の手段により日・比諒解濟みの右憲法改正を不可能ならしめんとしたならば、極東大會を解消し新なる大會を設立し以て滿洲國參加と改造問題とを一舉に片付ける事。之には成る可く比島の共同聲明を得る事。
- 三、右に對する比島の協力が得られなかつた際は止むを得ず。日本單獨に極東大會の解消を叫び、將來は日本で全く別個の國際大會を開くこととする事。

結局、右の内の第二の方針通りの結果を得たのであるが之は今回の大會に於て更に其感を深めた支那の「アンフェア」な競技振りに鑑み、且又新設大會を徹底的に理想に近いものに育て上げて行くといふ見地からは遙に第一の方針よりも手取り早いものであると信ずる。

會議經過

五月十九、廿日の會議では日本側から提案の天皇帝杯の措置は日本體協に於て宮内省に御伺ひした上、適宜處置することとし、其他水・陸を初め各競技のルール・種目其他に對する改造案も殆ど全部日本の主張、通りに可決を見て、極東大會改造案の一端を實現し得た。

一方本題の滿洲國加盟に關しては日本から憲法第三條に「新會員加盟ニハ全會員一致ノ讚成ヲ要ス、」とあるのを「代表サレタル會員ノ三分二ノ讚成ヲ要ス」と變更することを提案し、豫め比島の讚成内約を得て居つたから、右可決次第滿洲國の加盟を附議可決する手筈とした。

此の憲法改正案は場合によつては日・支間に非常に重大な影響を及すので、日・比・支各一名より成る憲法委員會に附託とされ、其間正面衝突を避ける手段の發見に努めるといふことになつたが、勿論委員會では日・支互に譲らず何等妥協の途は開くべくもなかつた。

從而二日目の會議には日・比・支各委員から各個別に報告並に意見を具陳した次第である、此間支那は終始憲法改正に不讚成を稱へ更に憲法第十四條に

「本憲法改正ハ定期總會ニ於テ出席代表ノ三分二ノ投票ヲ要ス」と明文があるのを、殊更に「全會員ノ三分二ノ投票ヲ要ス」と曲解主張し、日・比兩國の反對を受け終に其の解釋に關し投票が行はれんとするや、「此上は支那は此の會議を退席する他なし、而し支那は退席の責任をとらず、又退席により極東大會から脱退するものに非ず、次回大會の上海に於て開催されんことを希望す、」と云ひ残して、代表一同

悲壯な面持で議場を立去つた。

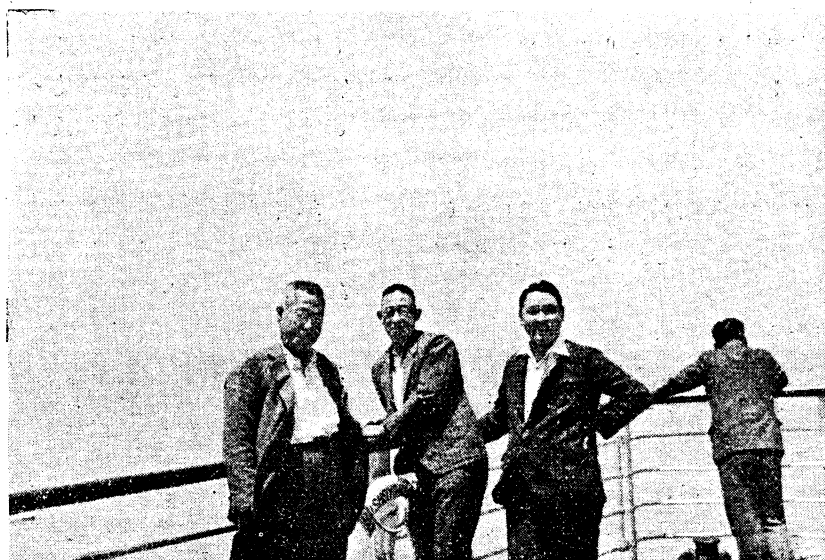
茲に於て前掲の吾が代表部方針通り「主要會員國たる支那が定期總會から次回開催地、及新役員の決定をも見ず退席の舉に出たことは甚だ遺憾であり此の上は極東大會存続の意義なしと信ずる故、此の第十回大會を最後として之を解消し、今後の東洋「スポーツ」のため日本は之に代はるべき新大會の設立を提唱する。比島も宜敷之に賛同協力されんことを望む、」と小生から「解消、新設」を叫んだ、而し支那の退場に際しての言分、其他比島としても積極的に支那と衝突することは極力避け度い事情もあり、即座に日本と共同で「解消、新設」を稱へる迄に至らず、唯、日本が「解消、新設」を叫べば翌日比島が之に和するといふ程度の協力しか其の場合は望み得なかつた。

其間支那退場後の議場は混亂に陥り上記の「解消、新設」に關する比島要路との私的折衝のため、又日本代表部としても直ちに「解消、新設」を天下に聲明すべきか、或は今少し情勢進展の後にすべきか等の協議も必要だつたので、一時休憩が宣せられた、而して混亂裡に、何等正式決議を見ず支那の退場に對し、日・比共同にて之を遺憾とする旨共同聲明を發し閉會となつた。

此處に於て我代表部は慎重協議の上統制委員會とも計り、同夜(五月廿日)深更に至り更に翌廿一日會議再開を期することに一決、直ちに翌朝に互り比島要路へ働き掛け、遂に廿一日九時から會議再會となつた。

結果

此の廿一日の會議では御承知の通り、



歸路平洋丸にて左より小林彦次陸上總監督・松内アナウンサー・松澤代表

(一)先づ極東體協總會として新大會樹立の前提の下に

第十回を限り極東大會を解消すること

(一)續いて新大會設立會議に移り左の如く決定した。

- 1 名稱 新大會ヲ東洋アマチュア、アスレチック、アソシエーション(以後AAA O)ト稱シ競技會ヲ東洋選手權大會ト稱ス。
- 2 憲法 AAA Oノ憲法並ニ競技細則ハ凡テ最近ノ舊極東體協ノ憲法並ニ附則通リトス。但シ憲法第三條ハ「全會一致」ノ代リニ「全會員ノ三分二」ト訂正スルコト。
- 3 會議 右憲法並ニ附則ニ關シ更ニ改造完璧ヲ期スルタメ本年十月(或ハ比島ノ都合ニヨツテ變更アルベシ)東京ニ特別會議ヲ開キ日比兩國ニテAAA Oノ將來ノ方針ヲ議スルコト。
- 4 選手權大會 第一回東洋選手權大會ヲ一九三八年東京ニ開催スルコト、第二回大會ヲ一九四二年マニラニ開催スルコト。
- 5 滿洲國 滿洲國ハ舊極東體協加盟ノ希望アリシニ鑑ミテ新AAA Oノ參加希望ノモノト解釋シ、日・比一致其ノ加盟ヲ認メルコト、但シ手續上ハ滿洲國ノ正式申込ヲ待ツコト。
- 6 會員 其他東洋諸國ハ原則トシテ參加ヲ認メルコト、シ直チニ第一回大會ヘノ招待ヲ發スルコト。
- 7 役員 名譽會長 ケ ソ ン
會長 平 沼 亮 三
副會長 バ ル ガ ス
名譽主事 郷 隆
憲法並ニ組織委員 安部 イラナン
- 8 國際オリムピック委員會ヘノ通告
舊極東體協主事ヨリ其ノ解消ヲ、新AAA O主事ヨリ其ノ成立ヲ夫々國際オリムピック委員會ヘ通告スルコト。

所 感

右の結果により、且又比島側との私的交渉により新AAA Oの進むべき方向は、兼て吾々の抱懷した理想案通り

- 一、廣く東洋各國の參加を認むること
- 二、主催國は、東洋以外の國からも優秀選手を招き以て競技會に生採を添え且つ東洋スポーツの向上を促進すること、
- 三、會の組織を極力オリムピック化して、凡て各競技別の選手權取得を目的とする様、採點等の

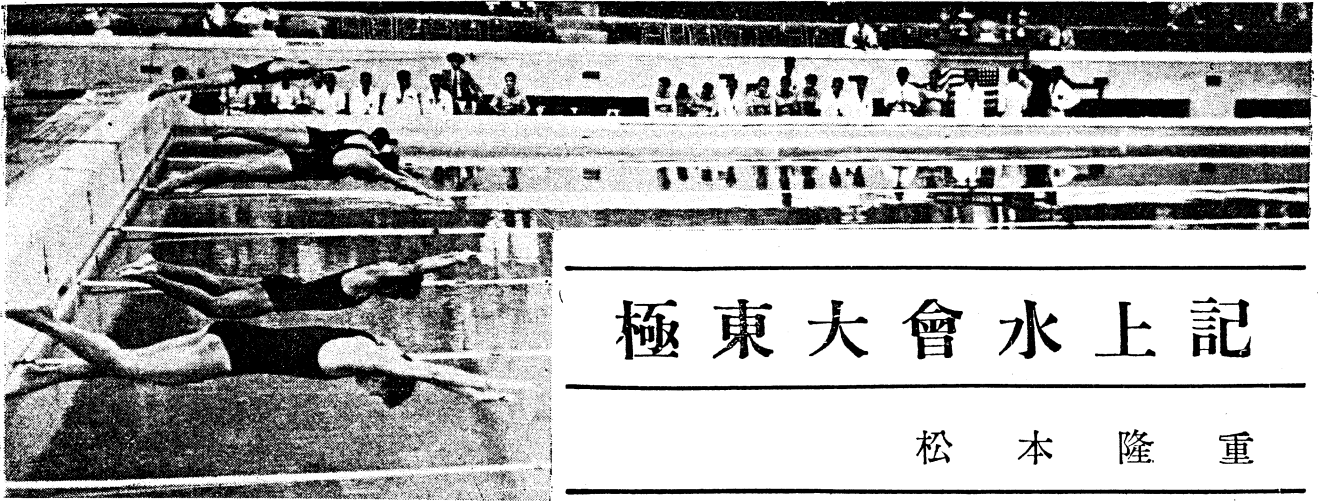
制度を成る可く廢棄し、且つコンテストコミッテイーを國際的にして技術的なるものとし以て從來極東大會の審判制度の缺陷を補ふことの諸點の實行を見るべきことゝなつた。換言すれば東洋スポーツ大會が何れの形に於てか到達すべき處へ結論し得たものと信ずる。

次に支那方面の一部並に日本の二三の無智な新聞がAAA O設立の合法性を疑ひ舊極東體協が依然として存續し得る様に考へて居つた様であるが、之は勿論大間違ひで「解消、新設」共全く合法的なものであることは次に説明する通りである。

一、解消を決議した五月廿一日の舊極東體協會議は其の憲法第九條に「會議ハ其ニ代表サレタル會員國ノ大多數出席ニヨリ成立シ、且ツ其ノ多數決ニ依ツテ決議スルコトヲ得、」とある通り全く合法的なコンGRESSであつた。何故ならば、十九日のコンGRESSにはジャバはオブザーバーとしてのみ出席し正式に代表を列せしめなかつたから、十九・廿日のコンGRESSは日・比・支の三國の正式出席によつて成立したもので、從而廿一日の會議は右三國中の日・比二國の出席により正式に成立し、二國一致で解消を決議したからである。因に支那は廿一日のコンGRESSの案内を受けても電話、文書共に之を拒否し、勝手に極東體協から其の影を消したのである。

二、假に支那が舊極東體協を未だ存續させやうとしても其は上記の理由の外次の具體的問題に依つても不可能のことは明かである、即ち舊極東大會には第十一回を開催しやうとしても之を招集すべき會長以下の役員が居らず又開催地及年度も何も正式に決められなかつたこと又、實力上から見て日・比を除いて支那が何事をも爲し得ないことは明かで、一方AAA O新設は全く新しいものゝ創立總會をやつた譯であるから、之こそ實力の問題で、合法性もヘチマもないが必要な取決め丈けは前記通りきちんとやつた次第である。

斯く支那を退席の外なからしめ、新AAA Oが日・比兩國丈けで出來上つて見ると、支那主席代表沈司良等には自分として氣の毒に堪えず、又彼等の奮闘は敵乍ら賞讃してやり度い。將來支那がAAA Oに參加を希望するなら、日・比兩國は恐らく決して之を拒むまいが、各スポーツに支那が眞實に覺めて御定まりの「ダートイブレイ」を棄てる日こそ東洋「スポーツ」の眞實の平和の日であらうと信じ之を待望して止まぬ。(終)



●100米 自由形決勝スタート●

極東大會水上記

松本 隆重

幾多の波瀾を生んだ極東大會も滞りなく大成功裡に終りを告げたのである。惟へば吾々アスリートが国内一部の盲動者の迫害を受けながら、飽くまで己が信ずる正しき道を遂行するため敢然と参加してより早や二ヶ月に垂んとしてゐる。凡てが夢の様だ。

既に解消された極東選手権大會には何等の未練もない、新しく而も合法的に生れ出た東洋選手権大會のために絶大の希望を抱いてゐるものである。

今臆げながら簡単に大會の戦跡を辿つて見よう。水上競技は十六日午後五時より新設、リザール、メモリアル、ナタトリウムに於て、日・比・支・蘭印の四ヶ國参加のもとに行はれ、50米豫選より火蓋は切られた。以下記録に所感を加へて責を免れたいと思ふ。

50 米 自由 形

1. 竹村 公良 (日)
2. 高橋 成夫 (日)
3. 豊田 久吉 (日)
4. ルテイロ (比)

とかく水物と言はれてゐるだけに、このレースは割合に氣懸りだつたが、日本のスタッフに喰ひ込むのは恐らく比のフリー位で、それも三、四位に甘んじることゝ思つてゐた。竹村、高橋、豊田、三選手の優勝競ひは明らかで、練習中調子のよかつた高橋が再度の榮冠を克ち得るだらうと誰しも想像してゐた。然し豫期に反し、ベテラン竹村がものにしてしまつた。高橋は豫選でミスジャッチ等(15頁の寫眞参照)あつて幾分氣を腐してゐた様であつたが、決勝に於ける彼の試合振りは好いとは言はれなかつた。ゴールに入る前ペースを亂し、やたら頭を水に突込みノーブレッシングをやつて跳いてゐた。それが敗因かも知れない、コースラインが明らかでないため幾分

まがるのも因する一つであらう、あれ程 50 米に經驗を持つ彼でも一度ペースを亂すと惨めなものだ。優勝の竹村はやつぱり實力があると言へよう、一条も亂さずコースを泳ぎ切つた彼はさすがに短距離界の王者だ、現れた記録は好いとは言へないが、とにかく勝つたんだ強いに異ひない。これだけのスプリントのある彼が何故 100 米になると弱いのか、精神的に壓迫を感じて泳げないものと諦めてゐるのではないか、そんな小心では大成しない、何處までもファイトを出して精進して欲しい、豊田の三着は實力かも知れない、あの長身を利して何んとか前者を凌ぎたいものだ、梅田はレースに非常に堅くなりスタートで、比・支の輩に飛沫をあびせられ後半滑り出し頑張つたが及ばなかつた。

とにかくこの 50 米は初めからダブル續きで、彌が上にも吾々を亢奮させた。審判の無智と幼稚さにはあきれてものが言へない位だ、何しろレフェリーやジャッチが水上競技に經驗の薄い名士(スタジオ建設のため國策上名士を据へた)ばかり揃へてやつてゐる位だから少し位の誤審のあるのは當然のことだ。吾々が問題が生じた場合、抗議を申込もうと待ちかまへてゐると、責任者はレースが終るや否や何處かに消へ失せる、それで止むを得ず端し役員をとらへると、主な責任者が居ないから即答出来ない I am sorry の連發だ、これでは仕方がない、ほんとに困つた代物だ。日本の抗議が煩くて逃げるのではなく、彼等の審判法の無智と幼稚さを暴露するのが恐いので逃るのだと思はれる。それでも悪意があるのではなく、一生懸命努力してゐるといふ誠意は認められないでもないが、今少し審判術の方に頭を入れて研究して貰ひたいものだ。今後こんなことはあ

るまいが抗議を申込む際に、大事の前の小事だから忍ぶべきことは忍んで呉れとか、然し競技上のことは飽くまで正義を主張するのが当然ではないかしら。たとへその抗議が容れられないにしても、そんなことは問題ではない。競技の上に感情を挟むのは面白くない、競技者をロボットにしない様政策と競技ははつきり區別される様紙上をかりて願ひする。何んとかけちのついた五十米はインターナショナルの競技会にもなく、審判上に困難だといふ理由のもとに次大会からは廢止されることになった。

200 米 平 泳

1. イルデフオンソー(比)
2. 小池 禮三 (日)
3. ジキラム (比)
4. アラサド (比)

今靜かに小池の敗因を考へて見るとどうしても精神的壓迫より來たナーバスより他ないと思はれる。この日のスタンドは唯小池とイルデフオンソーの一騎打を心行くばかり觀戰せんとする人達で超満員だつた。全種目の勝敗は度外視され、内容實質から見ても國際的レースらしいレースは唯この種目だけだつたので、日比の聲援は物凄かつた。比島の水泳コーチは平泳だけは必ず喰ひ込んで見せると常に豪語してゐたけれど、あれ程の結果になつたことを奇蹟のやうに思つてゐたことだらう。恐らく如何にイルデフオンソーが力泳しても實力世界一(過般甲子園合宿中、非公認世界記録2:36.4)の小池に苦盃を嘗めさせるとは想像だに及ばなかつたことだらう、それだけ小池のマニラに於ける人氣はすさまじかつた。豫選の蓋が開かれた時に思はず憂慮せずには居られなかつた、といふのはイルデフオンソー、ジキラムは既に定評があり、50秒は確實に切るものだと思つてゐたが、アラサドまで40秒臺で泳ぐとは思はなかつた。これですつかり度膽を抜かれたわけだ。東京に於て先輩鶴田氏が二對一といふ精神的壓迫から苦い経験を嘗めてゐるのであつて、此度の場合は三對一、然かも遠征といふ大なるハンデキャップと著しい氣候の變化といふ悪い



400米自由形優勝者
新聞・横山・片岡

状態の下に置かれ、然かも頼るべき人もなく、唯一人、又先輩の仇、世界記録樹立是等のものが試合の前に彼の頭腦に深く刻み込まれてゐるに異ひない。大望を抱いてゐる時、責任を持たされて試合に臨む時は必ず緊張し過ぎて心に亂れが出来るものである。特に人一倍感受性の強い彼だ、この點吾々は非常に心配し、心の平靜を保ち樂な氣持で泳ぐよう幾度も念を押した。併しジャーナリズムが彼をして益益いらだたせたのだ。このナーバスが禍してレース

夫自身拙く導き遂に實力を發揮しないで終つた。小池は大きな大会で實力を持ちながら二度優勝の榮冠を逸した。一つはロスアンゼルスの大會だ、これも決勝の前夜眠れず睡眠不足だと聞く、あれだけ貫祿を有してゐる彼でも試合に臨んであがるのだ、煎じつめれば經驗が足りない。修養が未だ積まれてゐないといふ結果になりはしないか。

何れにしても比島平泳の水も漏さぬ配陣には敬服の外ない、あれだけのスタッフは世界何處の國にもない、比島平泳界の三銃士よいつまでも健在であれ、時に老雄イルデフオンソーの大會四度連続優勝は絶讃に價する。彼は相變らず軍務に服し四人の子供の父であるとか、此際我水泳界O.B連中に警鐘を亂打したい。

小池未だ若しの聲囂々たるものがある。

三度失敗を繰り返さない様今後益々自重自愛、來るべき伯林大会を目指して一路邁進されんことを望む、又小池をして樂な氣持で泳がすよう葉室以下の選手諸君に奮起を促したい。

“緊揮一番平泳界の寵兒傑出せよ”

400 米 自 由 形

1. 新聞 六柄 (日)
2. 横山 隆志 (日)
3. 片岡寅次郎 (日)
4. 杉本 盛 (日)

人選に苦心したが誰が出場しても恐らく日本軍全勝で一點も他國に許さない自信があつたので、横山、新聞、片岡、杉本と配した。豫選決勝とも一方的レースに終始した。決勝に於ける新聞の4:52.4の記録

は決して悪いものではなかつた、あれ程のブー
 コルンデションでよく泳いだと首肯出来る。ロ
 スアンゼルスで苦い経験を持つてゐるこの種目
 に今後充分力を注ぐべきだ。幸に新聞、片岡の擡
 頭は中距離界に一段と光彩を放つものである。
 新聞の泳ぎは力強いが呼吸の時に左肩がうんと
 落ちる、片岡は泳ぎそのものは上手とは言はれ
 ないが、あのファイト、頑張りを失つてはならな
 い。兩者とも今少し泳法の研究を積んで、樂な
 確實な泳ぎに導いて欲しい。近來不振の横山は
 過般甲子園合宿で非公認だけれど4:45.8の世界
 記録を作つてまだ捨てたものでもないと彼自
 身語つてゐるが新進氣鋭の新聞に名をなさしめ
 た。泳ぎも随分無理な所もあるが、土佐ツ子特
 有の闘志と頑張りでやり通したのは流石は「横
 だ」と思はしめた。比のカロウエイ、デングムは
 四者の敵でなく我國地方青年團競技に出場す
 る程度のもので泳ぎが全然なつてゐない、あれで
 はまだまだ牙城に喰ひ込むことは出来ない。こ
 の400米はレースとして最も掛け引きがあり作
 戦を要すものでこの種目に最善を盡して力一ぱ
 い泳ぐ人は頭のよい泳者である。陸上競技なら
 400米位まではダッシュとされてゐる様である
 が水上競技では中距離とされ泳者もこの氣持で
 泳いでゐるに異ひない。スタートより飛び出せ
 ば後半惨めだ、ロスアンゼルスで佛のタリスが
 演じた様に人の力には限りがある。着實に力强
 く泳ぐのが頭の優れた泳者と言へるのである。
 米のバスタークラブが榮冠を克ち得たのも實
 にこの着實な泳法によるのである。

中距離界の泳者よ、先輩の苦杯を二度と嘗め
 ない様來るべき大會に是非ともこの種目に優勝
 して欲しいものだ。

100米自由形

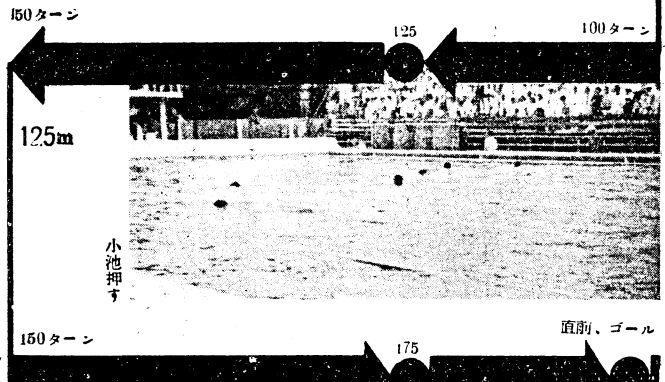
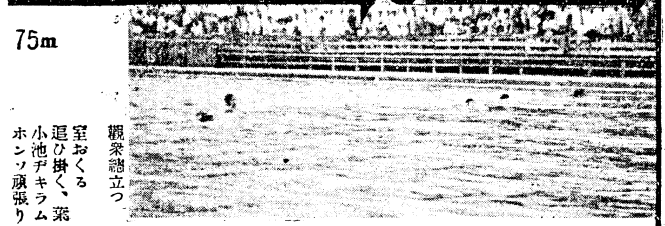
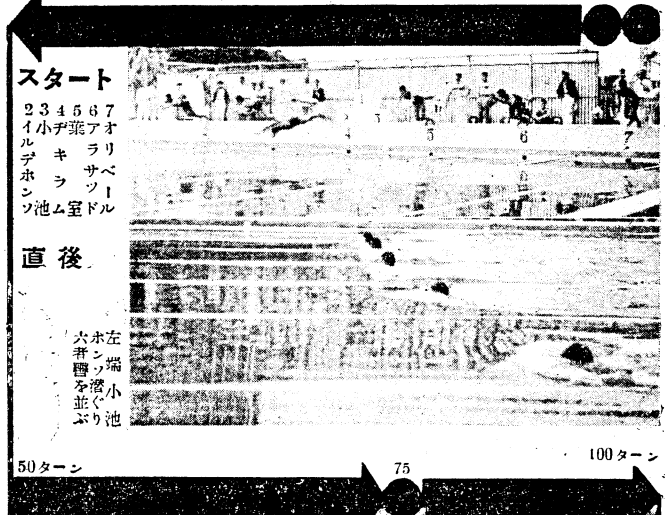
1. 遊佐 正憲 (日)
2. 豊田 久吉 (日)
3. 坂上安太郎 (日)
4. 高橋 成夫 (日)

追従を許さぬ我が堅陣に比島唯一のスプリン
 ター、アリーが如何にして潜ぐり込むか、戦前
 の豫想で興味を引いてゐるたやうだつたが、實力
 から言つても問題ではないと思つてゐた。61.2
 秒臺で云々せられることは片腹痛い位だ。この
 四人が如何なバッドコンデションでも60秒臺
 では完全に泳ぎ得る、コースの順で或は世界記
 録が生れるのではないかと思はれる位だつた。
 然しレースの二三日前から至寶遊佐が耳痛を訴

二百米平泳決勝の経過

LANE	SWIMMER	COUNTRY	PLACE	TIME
2	T. YLDEFONSO	PHILIPPINE	1	2:45.9
3	L. KOIKE	JAPAN	2	2:46.3
4	A. JIKIRUM	PHILIPPINE	3	2:48.4
5	T. HAMURO	JAPAN	5	
6	H. ARASAD	PHILIPPINE	4	2:48.8
7	J. OLIVARES	PHILIPPINE	6	

50ターン 直後、スタート



スタート
 2 3 4 5 6 7
 イ小チアホ
 デキキラ
 ホンツム
 ツ池ム室ド

直後
 左端小池
 六井園を並ぶ

75m
 観衆立つ
 室おくる
 追ひ掛く
 小池チホ
 ホンツム
 ツ池ム室ド

125m
 小池押す

175m
 小池押す
 池チホ
 ホンツム
 ツ池ム室ド

ゴール直前の混戦
 小池押す
 池チホ
 ホンツム
 ツ池ム室ド

へたので一方ならず心配したが、どうやら泳げるには泳げた、勿論新記録が生れるわけはなかつた。僅かに一分を切り極東新記録に甘んじたのみだ。二・三・四着の連中は實力伯仲し其の日の調子次第で誰れが勝つとも敗れるとも見當が付かなかつた。これだけスプリンターとしての身體の整つた實力のある國は他にあるまい、ロスアンゼルス優勝者宮崎を加へたら一大偉觀だらうが彼の其後の状態が知りたいものだ。

是等のスタッフに依つて多年破られなかつたワイスミュラーの0:57.4の世界記録は近き將來必ずや更新されることを確信する、今回マニラでのレコードを云々するのではなくこれらの選手のあのがつちりとした身體と力強い泳法に期待するのである。短距離が非常にデリケートである事は論を俟たない、一寸のことで勝敗や記録が一變されるのである(スタート、ターニングの巧拙等)泳者もこの事を常に心懸けて不斷の練習を積まれんことを望む。

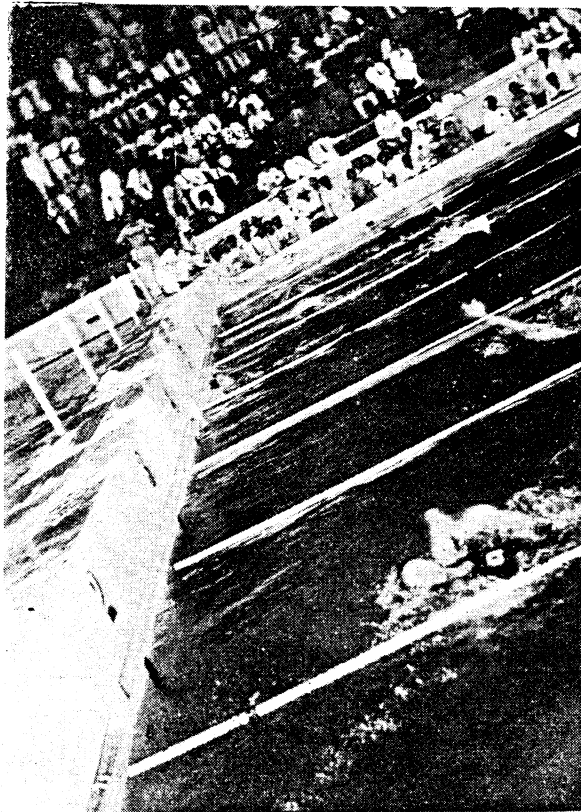
100 米 背 泳

1. 河津憲太郎 (日)
2. 清川 正二 (日)
3. 明 文一 (日)
4. 入江 稔夫 (日)

羅府で三本の日章旗を掲げたのは最新しいことである。背泳王國の日本、清川、入江、河津の名トリオを持つ日本水泳界は幸福である。戦前紙上には比のクリスチャンセンが10秒内外で泳ぐとか言つてゐたので内心びくびくしてゐたやうなもの、吾がスタッフを信じて樂觀してゐた(それでも習心配なので、比の練を見に行つたがクリスチャンセンの泳ぎは幼稚で無駄な處が多い様に思はれ、先づ大丈夫と思つた。)

合宿中より元氣だつた河津と清川の優勝競ひは明らかで、いつも不運な入江が前者をどれだけ追込むかが興味ある問題であつた。明は三者より少し落ち比のクリスチャンセン、フランシスコとの四着競ひだらうと思つてゐたが豫期に反して、明がトリオの一角を陥して初陣の功名、見事三着に入選したのは賞すべきである。優勝の河津は首肯される、背泳法

の完璧とも言はれ背泳法として世界隨一と稱さねばなるまい、泳ぎに無駄がなく瘦身長驅を實に巧に動かしてゐる。彼に今少し肉を付けたらすばらしい記録が生れることに異ひない、長蛇を逸した清川は無理もないと思はれる。甲子園合宿中同じく非公認ではあるが1:07.8の世界記録を出してはゐるが健康が兎角優れない彼に重任を負はすのは氣の毒だと思つて、身體を害なはない程度に割合自由に練習してゐた、過度の勉強と人一倍ハードトレーニングする



100背泳決勝ゴール
上より清川・入江・河津 下端 明

る彼に兩立は適しなかつたかも知れない、一年位水泳界より遠ざかつてゆつくり精養し來るべき大會に献身されんことを衷心より望む、入江が思ひがけない敗をとつたのは意外であつたが彼もそろそろ老衰期になつたことを裏書するものであらう。(失言かも知れぬが)主將といふ責任過大な爲め種々の雑務に追はれ、學業の關係からも専心練習することが出來ないのも氣の毒だ、然し君によつて我が背泳界が世界的レベルに引き上げられ今日の背泳王國を築き上げたのだ此の事を忘れないで外にあつても斯界のため勇躍されん事を、清川唯一の秘藏子、明も立派に箔が附いた。所謂躍進期に遭遇し鰻のぼりに昇つて行つたが未だ泳法に

は研究の餘地が多分にある。手取早く言へば清川の悪い癖をそのまま覺えて固まつてゐる、彼の體質で力そのものゝ清川の泳ぎを真似るのは無理である、今少し技を練り伯林への中堅となつて欲しい。

1500 米 自由形

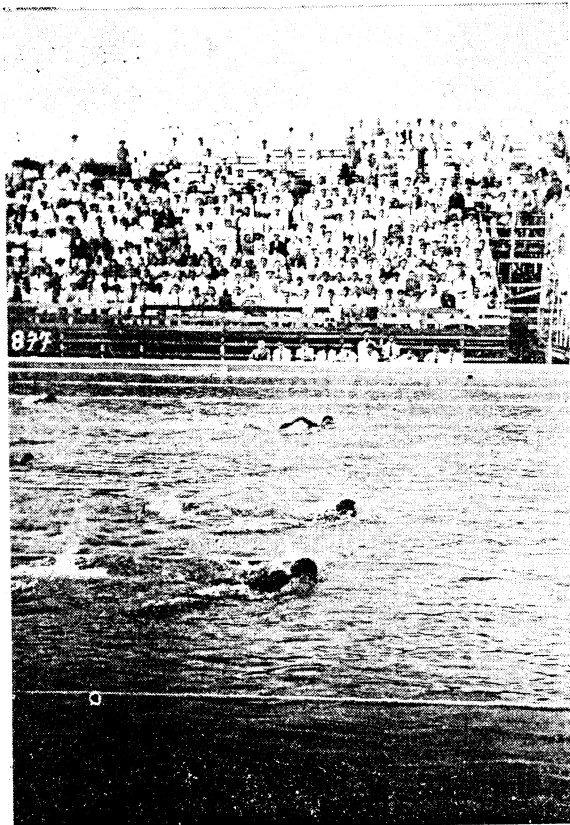
1. 牧野 正藏 (日)
2. 本田惣一郎 (日)
3. 北村久壽男 (日)
4. 石原田 愿 (日)

この種目に至つては斷然他國の追従を許さぬ處、吾國選手の獨舞臺だ。32度もある水温で20分近く頑張ねばならぬことは實に辛いことだらう。5,600米も泳げばゆで蛸のやうに眞赤になり、上氣してプールより上つて來る。氣の毒でたまらない。そして「あれではとても頑張れない」と言はれる度に叱咤しなければならぬ身が辛かつた。無理をさせて身體でも悪くされては申譯ない、あれだけのスタッフでは相

手にとつて不足である。と云つて戦ふ以上ベストを盡さなければ眞のスポーツマンと言はれない、聯盟の立前で行けば相手のないレースは勝つ程度（負けぬ程度）に泳げばいい、まして、こんなプールコンディションでは新しい記録は作られない、だからのんびりやつたらどうだと言はれるけれど自分はさうは思はない、獅子が兎を殺すにも全力を傾注するあの主義を採るべきだと思ふ、どんなに相手が弱いからとて輕んじてはならない、この事が將來どれだけの効果を齎らすか計り知れないのである。この意味に於て無理だとは思つたがあくまで頑張らした。（長距離連中に随分恨まれたやうだ）

試合は合宿以來好調の波に乗つた本田のリードで最後の100米まで續いた、或は本田がものにするのではないかと思はれたが、結果は試合上手なスプリントのある牧野に最後のターンよりしてやられた。大きな試合に経験の浅い彼にとつて好調の波に棹してぐんぐん飛び出し、そのまゝゴールに逃げ込めば或は成功してゐたかも知れぬが、コースが接近してゐたため互に牽制し合ひ、策を弄した泳ぎ振りであつたが、1000米まで牧野、北村に喰つかれては、スプリントに缺けてゐる本田にとつて利がないのは火を見るより明らかであつた。果たせるかな最後の100米で5米餘の差を作られて牧野に先んじられた、本田としては諦められぬ100米であつたに相違ない。然し體驗の薄い彼にとつてこの敗因はむしろ次大會への奮起を促し、躍進を約束されよう、泳ぎとしては申分ない程立派であるが惜しいことにスプリントがない、今少しスプリントの練習が必要ではないか、勝つた牧野はさすがは世界記録保持者だけある立派に貫祿を示した、あれだけになるには可成苦勞をしたと思はせる試合のコツを充分會得してゐる。あの矮小な身體で「よくもまあ」とはいつもながら出る言葉だ、まだまだ中距離に轉向するには早い、その絶えざる精力を伯林まで保つてもらひたい。先年オリンピック優勝者の北村はどうしたものか不振に終つ

た。合宿中、長距離連中より一太刀後れた觀があつた、それは冬季シーズンに練習しなかつた點であらう。他の者は皆東京在住の大學選手で夫々冬季シーズンを有効に費ひやしてゐた結果に他ならないと思ふ、歩調を合はすために合宿中無理な練習がこんな結果をもたらしたのではないかしら、彼の泳ぎからしても、じりじりと迫るあの執拗さ、急に歩調を合はさうとしたのが彼の泳ぎを悪くし、こんな結果を導いたのだと思ふ。この點コーチとしての私の誤つた指導練習法に大責任があり、本人に對しては勿論水泳界のために相濟まぬわけである。然し短い期間に過度の猛練習を續けたのでこんな敗をとつたのであらうが夏のシーズンまでには必ず舊態に復し、昔の北村になつて呉れることゝ確信する。一度の蹉跌で人後に落ちる彼ではない。どうぞ期待を裏切らないで呉れ伯林までは休養するには一ときあるぞ。石原田も甲子園での不祥事件さへなければ19分臺では泳いでゐる、返すがへすも残念である。長距離選手よ、ボルグの記録は風前の燈火だ、「打倒ボルグ」



1500米自由形決勝
500米邊の競り合ひ
上より北村・本田・牧野

800米リレー

1. 日本チーム

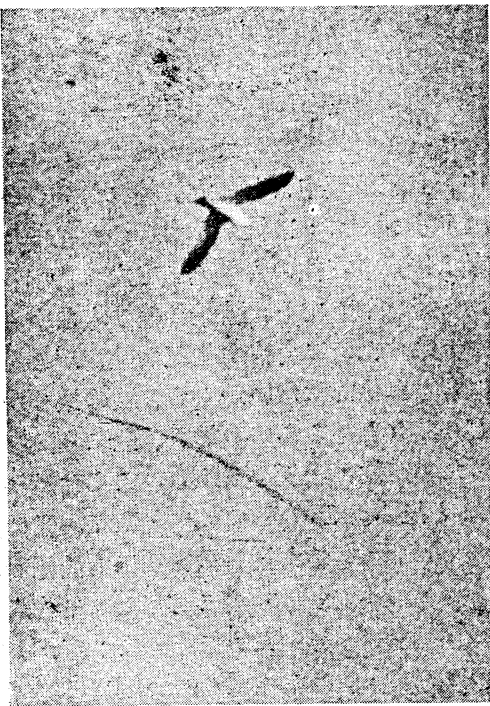
新聞・片岡・横山・遊佐

2. 比島チーム

グスマン、カベサス、デンダム、アリー

大會の終尾を飾るこのレースも問題なく大勝した。

極東大會の水上競技の成績は平泳を除いては先づ豫定通りであつた。よしんば平泳にも勝つたとしても有識者間に於ては當然のことと思はれ、敗れば可成の批評を下されることと思ふ、コーチとしての淺學を恥ぢると共に、この敗に對して充分の責を負ふ覺悟である。あんなコンディションで可成の成績を得たことは選手諸君が一致團結され、淺學の我々の統制に服された結果に外ならないと思ふ、何れにしても他の競技に比べてよく纏つてゐたと言へる、此の點他の團體と異なる所であらう、以後益々水上モンロー主義を發揮して來るべき伯林大會に具へられんことを希ひこの稿を終りたい。



● 極 東 大 會 公 式 記 録 ●

競 技 成 績

50米自由形

豫選

- A組 1. 豊田久吉(日)——26.45 極東新
 2. A. ア リ(比)——72.3
 3. I. ノ ヒ(比)——27.8
 4. 高橋成夫(日)——28.0
- B組 1. 竹村公良(日)——26.6 極東新
 2. N. ル テ イ ロ(比)——27.6
 3. H. ハースマン(蘭)——27.7
 4. 陳 振 興(支)——27.9

決勝

1. 竹村公良(日)——26.7 極東新
 2. 高橋成夫(日)——26.8 極東對
 3. 豊田久吉(日)——27.0
 4. N. ル テ イ ロ(比)——27.4

100米自由形

選豫

- A組 1. 遊佐正憲(日)——60.2 極東新
 2. 高橋成夫(日)——61.1
 3. F. グズマン(比)——65.5
 4. E. ボールテイル(蘭)——66.6
- B組 1. 坂上安太郎(日)——61.0
 2. 豊田久吉(日)——61.5
 3. A. ア リ(比)——63.8
 4. I. キヤヘコ(比)——67.6

決勝

1. 遊佐正憲(日)——59.8 極東新
 2. 豊田久吉(日)——60.5 極東新

3. 坂上安太郎(日)——60.9

4. 高橋成夫(日)——61.6

400米自由形

豫選

- A組 1. 横山隆志(日)——5:00.9 極東新
 2. 片岡寅次郎(日)——5:07.9
 3. S. デンダム(比)——5:22.2
 4. 石 錦 培(支)——6:20.0
- B組 1. 新聞六炳(日)——4:56.1 極東新
 2. 杉本 盛(日)——5:05.6
 3. J. キャロウエイ(比)——5:25.5
 4. F. ム ナ ール(比)——5:26.0

決勝

1. 新聞六炳(日)——4:52.7 極東新
 2. 横山隆志(日)——5:01.7 極東新
 3. 片岡寅次郎(日)——5:02.6
 4. 杉本 盛(日)——5:02.8

1500米自由形

豫選

- A組 1. 北村久壽雄(日)——19:52.4 極東新
 2. 本田惣一郎(日)——19:59.6 極東新
 3. A. ケ ー ス(比)——22:18.0
 4. C. アブラン(比)——22:18.2
- B組 1. 牧野正藏(日)——19:47.3 極東新
 2. 石原田 愿(日)——20:31.0
 3. F. ム ナ ール(比)——22:19.0
 4. J. キャロウエイ(比)——

決勝

1. 牧野正藏(日)——19:45.2 極東新
 2. 本田惣一郎(日)——19:48.0 極東新
 3. 北村久壽雄(日)——19:51.0 極東新
 4. 石原田 愿(日)——20:39.1

100米背泳

豫選

- A組 1. 清川正二(日)——1:12.0 極東新
 2. 入江稔夫(日)——1:13.4 極東新

3. T. フランシスコ (比)——1:16.3
 4. E. プガリン (比)——1:17.0
 B組 1. 河津憲太郎 (日)——1:10.9 極東新
 2. 明文一 (日)——1:13.0 極東新
 3. A. クリスチャンセン(比)——1:14.5
 4. A. サンダカン (比)——1:15.0

決勝

1. 河津憲太郎 (日)——1:10.8 極東新
 2. 清川正二 (日)——1:11.3 極東新
 3. 明文一 (日)——1:12.0 極東新
 4. 入江稔夫 (日)——1:12.2 極東新

200 米 平 泳

豫選

- A組 1. A. アルバド (比)——2:48.1 極東新
 2. J. アチャルデイン(比)——2:48.6 極東新
 3. 葉室鐵夫 (日)——2:54.0
 4. 山田弘 (日)——2:54.1
 B組 1. 小池禮三 (日)——2:45.1 極東新
 2. T. イルデフォンゾ(比)——2:45.6 極東新
 3. J. オリバレス (比)——2:54.0
 4. 大崎卯藤久(日)——2:54.5

決勝

1. T. イルデフォンゾ(比)——2:45.9 極東新
 2. 小池禮三 (日)——2:46.3 極東新
 3. J. アチャルデイン(比)——2:48.4 極東新
 4. A. アルバド (比)——2:48.8 極東新

800 米 リ レ ー

1. 日本チーム 9:47.6
 (新聞六炳、片岡寅次郎、横山隆志、遊佐正憲)
 2. 比島チーム 10:14.0
 (F. グズマン、S. デンダム、S. キヤバザス、A. アリ)
 註、比島から送附せる公式記録に依れば日本チームのタイムは 9:47.6 とあるが、鶴岡監督の談に依れば 9:17.6 が正しいと思われるので目下問合せ中である。

得 点 表	日	比	支	蘭
50 米自由形	10	1	0	0
100 米自由形	11	0	0	0
400 米自由形	11	0	0	0
1500 米自由形	11	0	0	0
100 米背泳	11	0	0	0
200 米平泳	3	8	0	0
800 米リレー	10	6	0	0
合 計	67	15	0	0

來征に決定したアーサー・ハイランド

今夏 日本選手権水上競技大會にメデイカ、ウェーへと共に米國より來征する事に決定した、ハイランドはシカゴのミースウエスタン大學學生で、一九三三年のオリンピック全米豫選の頃から米 100 秒 31.0 で活躍して居つたが其の後常に全 100 米碼或は 100 米で第四位を下らず、本年に至り三月末の全米室内選手権大會の 100 碼では W スペンスに次いで例の慧星ピーターフィックを破り二着となつた。

最近七月の全米戶外選手権大會では再びフィックを破り 1 秒 6 を以て全米選手権を獲得し名實共に米國短距離界の NO.1 となつた爲、フィックに代つてメデイカヴァンデウエーへと共に日本行の名譽を擔ふ事となつた。

希くは存漢能く奮闘して我が短距離陣を脅かして貰ひたいものである。

來征米選手消息

ロバート・キツバス氏を監督にジャック・メデイカ、ヴァンデ・ウエーへ、アーサー・ハイランドの米國選手一行は七月十八日サンフランシスコ出帆の龍田丸で日本遠征の途に上つたが途上、サンフランシスコに於て、ジャック・メデイカは 1500 自由形に 19:20. の好記録を出し、二十三日ホノルル青年會の二十五碼プールで、メデイカは 400 自由形 W 4:40. の新記録を出してすこぶる元氣な所を示し、ヴァンデ・ウエーへは 100 米背泳 W 1:07.4 を出した。

八月一日午後一時龍田丸にて横濱入港、小兵ロバート・キツバス監督はなつかしさうな笑を浮べ、大兵の三選手と共にすこぶる元氣で日本上陸の第一歩を印した。直ちに帝國ホテルに落ち付き、同日より神宮プールで練習を開始した。

日本の暑さには多少閉口してゐるらしいが三選手共練習中相當驚異的のレコードを出してゐるとの事であるから選手権には日本の選手諸君との一騎打ちが見物であらう。



極東大會雜觀

鶴岡英吉

合宿の成果

昨年の秋決定した選手に追加する六名を選んだ四月十五日の豫選會の翌日から甲子園のスポーツマンホテルに合宿して室内プールで練習したが、シーズン初めにも拘らず豫期以上の効果をあげた。殊に小池、牧野、新聞、河津等の元氣はすばらしかつた。四月二十二日に上京して松澤君に「小池は元氣で、四十秒を切るよ」と話したら、「五十秒をねー」と済ましてゐる、こちらが四十秒と五十秒とを間違へてゐる位に思つてか大して驚かないので、「四十秒だよ」と念をおすと「何四十秒を……」初めてニヤニヤした。

四月二十五日に第二回の記録會をやつたが、皆立派なタイムを續出した。選手は二十四日迄の練習の山で相當疲勞してゐたし、到底よいタイムは出来なまいと思つたか、水泳督を着ないで樂な氣持でやり度いと希望だつたから、そのまゝでやつたが、あの記録を見たら、さしづめ飯田さんあたりがくやんでゐるだらう。

4月25日 甲子園室内プール(25m) 水温 24.6	
50米	竹村 26.2 高橋 26.2 梅田 26.6
200米	50ラツプ 100ラツプ 150ラツプ 200
	遊佐 30.0 1:04.6 1:39.2 2:14.2
	新聞 30.2 1:03.6 1:36.8 2:14.4
	片岡 30.4 1:04.6 1:37.0 2:13.4
	坂上 30.4 1:03.0 1:37.4 2:14.0
	豊田 29.8 1:04.0 1:33.2 2:15.0
400米	100ラツプ 200ラツプ 300ラツプ 400

横山	1:05.8	2:18.2	3:31.2	4:45.8				
石原田	1:04.2	2:19.6	3:33.2	4:46.2				
杉本	1:07.8	2:22.0	3:33.8	4:50.4				
800米	100	200	300	400	500	600	700	800
	ラツプ	ラツプ	ラツプ	ラツプ	ラツプ	ラツプ	ラツプ	ラツプ
牧野	1:09.2	2:23.4	3:37.4	4:51.4	6:05.6	7:20.2	8:36.2	9:49.8
北村	1:09.6	2:23.6	3:38.4	4:53.0	6:07.8	7:22.8	8:38.4	9:51.8
本田	1:09.2	2:23.2	3:37.4	4:52.0	6:06.2	7:21.8	8:38.4	9:53.8
100米背泳	50ラツプ	100						
河津	31.2	1:08.4	(21日午後)					
入江	33.6	1:11.8	50ラツプ 100					
明	33.8	1:11.8	清川	30.8	1:07.8			
200米平泳	50ラツプ	100ラツプ	150ラツプ	200				
小池	34.8	1:15.2	1:55.4	2:36.4				
葉室	—	1:20.4	2:03.6	2:46.8				
大崎	39.0	1:23.2	2:07.4	2:51.2				
山田	39.2	1:23.4	2:09.0	2:52.8				
(21日午後)	50ラツプ	100ラツプ	150ラツプ	200				
小池	35.4	1:16.0	—	2:39.2				

あとからは笑話

四月二十七日午後十一時頃、甲子園クラブの送別會の神戸牛に腹をふくらした遊佐が、風呂に行かうと二階から階段の入口に来ると、ボキシング靴のままで竹棒を携えた壯漢が血相變へて駆け上つて來た先日陸上競技の選手が足を殴られた事もあり、何だか來さうに思つてゐた彼、すはこそと三十疊の座敷を三步位に走つて窓の手摺に片足かけるや四米もある裏の空地に飛下りた。驚いた片岡、高橋、杉本、

石原田も續いで飛んだが本田は手摺にぶらさがつて、來たら逃げてやらうと思つて息を殺してゐた所遂に近づいた様子、手をはなしてボタリと下に落ちた。

山田は戸棚の内には入つた迄はよかつたがどうしても戸がしまらないで、ひどくあせつてゐた。北村は姿身の陰にかくれたが、殴られた以上に膝小僧をすりむいてゐた。

大した怪我もなく事件が終つて一寸避難した選手達も歸つた後、杉本だけがゐない。さては拉致されたかと心配してそこらあたりの空屋や松原を探してもゐない。暫く探しあぐんだ上、この近くに新居かまえた藤田明君の家の近くまで探しに來た序に一寸のぞいて見ると、杉本が同じく避難した陸上の繩田君、清水君と奥さんの汲んで出したお茶を呑んで済してゐたのにはあきれた。いきなり飛込んだ家が偶然に藤田君の新家庭であつた。

階下には二十人位の新聞記者と西宮署の正服私服の警官が五六人もゐたので、それを突破して二階迄來たからには相當の人数だらうと一同驚いたらしい。然し驚いて逃げてよかつた。相手になつて喧嘩をしたつてつまらないし、怪我でもすればそれ丈け損である。

マニラの暑さ

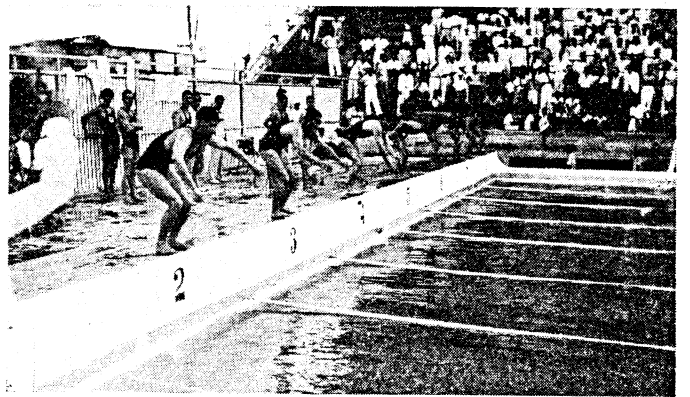
船が神戸を離れると一同再び朗かな気持ちを取り返してカンバスのプールは狭いが、元氣は溢れるばかりだ。航海は至極穩かてたすかつた。

マニラに着いて見ると話に聞いた通り暑い。日光が白いブレザーに照り返して目がちかちかする。宿舎を見て一同啞然とした。到着迄は、アメリカ式の一室一人か二人位で相當の設備のカレッヂの寄宿舎を想像してゐたが、之は何と一室七十人だ。大講堂に、スプリングの代りに籐の筵を敷いた寢臺がずらりと並んでゐる。その一つ一つの上に蚊帳が巻きあけてある有様はどう見ても西部戦線の野戦病院だ。

庭球の選手等は西側の廊下にはみ出されて、午後は西日の直射を受けて悲鳴をあげた。

朝の八時になると、室内で二十八度になる晝間は三十一度になる。夜の十一時にも三十一度だ。これでは二週間をどうしてすごすかと心細くなつた。

それも四日目から降り出した豪雨のために幾分涼しくなつた。初め朝方は寒いだらうから、毛布をよこせと云つて、先發の松澤、安部兩君に「眞裸で寝ても暑くて寝られないぞ」と笑はれてゐたが、その杞憂が本當になつて、平洋丸から毛布を上げて來る



上圖 練習小憩

下圖 Dr.Carloo に依るスタート練習

やら大騒ぎをした。連日の雨で陸上で行はれる運動はグラウンドが悪かつたらうが、全體として、あの暑さが二週間つゞくことから考へれば、グラウンドの悪い位の事はなんでもなかつたに違ひない。

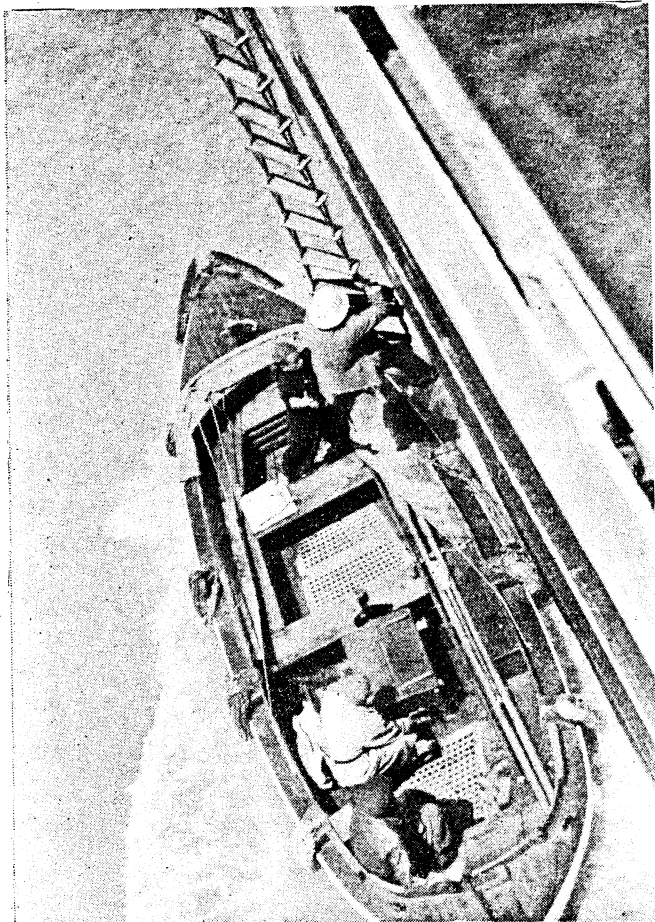
水泳選手は高石君の注意で腹巻を用意して行つたため非常にたすかつた。

プー ル

暑いからプールの水が三十二度に昇つてゐる。長距離の連中は八百位泳ぐと眞赤な顔をして、頭から湯気が昇り相に暑い暑いと汗を拭く仕末。それに水が濁つてゐて、競技會前日に取換えても浅い所でさへ底が見えない。あきらめたかコース、ライン等は引いてなかつたが、ゴールの近く五米位迄試みに引いて貫つたらうすす見える程度であつた。

スタート臺に立つて右側は永久スタンドで屋根がついてゐるし、觀覽席には籐椅子をずらりと並べてあるのは物凄しい。右側は臨時スタンドで、その中央にスコアボードと國旗掲揚のポールが立つてゐる反対側は五米の深さで、十米、五米、三米の飛込設備が完備してゐて、相當よく出來たプールだが、水の悪いことだけは惜しい事だ。

競技會の始る十六日には連日の雨で水溫が二十九度半になつて、我々には少しくましになつたと思は



●歸路に着く平洋丸●

れたが比律賓の連中は、寒い寒いと毛糸のスエーターを着込んでゐるのには驚いた。之から考へると彼等が東京に來た時は、水温はせいぜい二十度位、さぞ寒かつたらうと、今の我身にひきくらべてつまらん所で同情してしまつた。

大會のスタート

到着早々渡されたプール使用時間割の下に「スタートの練習を怠るチームは申出でれば大會のスターターが便宜をはかつて練習してやる」意味が書いてあつたので、早速頼んで見たら何だか様子が變で最初は面喰つた。クロールや平泳のスタートは、最初スタート臺の一米位後ろに立つ、レフェリーの笛で一步前進、審判臺より十五纏位高いスタート臺の上に登る。次にスターターの笛でいよいよスタートする前端に進む然しこの時はまだ直立の姿勢である。次にスターターのレディーの聲で體を前に倒して、用意の姿勢をとるが、動いてはいけない。次のピストルの合圖でモーションを起すのである。バックのスタートはプールに向つてスタート臺の前端近立ち、レフェリーの笛で、ねぢれ乍ら水中に落ちて、スター臺に向つて水中に立つ、スターターの笛の合

圖で壁につがまつて用意し、用意の合圖、ピストルで出發する。(前頁寫眞参照)

スターターに何故こんなスタートをやるかと聞いたら、一般に用ひられてゐる方法は、よく揃はないし、スターターに近い者が得をするから不公平だ、ピストルによつてモーションを起せば殆んど同時に音を聞き得るから合理的だと云ふ。比律賓の選手に聞いたら、比律賓でも今度が初めてであるが、大して悪いとも思はないと云つてゐる。大して不利でもないからやる氣になつたが、用意からピストル迄時間が短くて、立つた姿勢から、からだをまげるにとても忙しいから、この間を長くしてくれと申出たが、云つた當時は長くするが、すぐ元に戻つて困つた。

水泳に關する會議の時に、オリンピックやその他の國際競技に於て用ひられる方法でやつたらどうかと提案したら、フィリッピンの上水聯盟會長バルトロメが「只今日本から競泳のスタートにはファウル、スタートを用ひては如何との提案がありましたか如何でせう。」と一同にはかつたから、急いで、ファウル、スタートではない、クウィック、スタートだと云つてやつた。

審判問題

他の競泳では相當勝つて來るから大して問題は起るまいが、五十米は差が少いからと心配してゐたら案の定、大會當初の五十米豫選から明かなミスジャッジがあつて面倒臭かつた。

A組で高橋が1.コース、豊田が6.コースでスタートした。高橋、豊田の二人は他をからだ一つもリードしてゴールに近づいたので、まあ之なら明瞭だと安心してゐたら、ゴール前五米の所で高橋が左側の側壁にぶつつかつて頭をあげて止つてしまつた。ひどく手でもぶつつけただらうかと心配してゐると又泳いで、豊田には一米位おくれたが尙三着と思はれるアリを六七十纏も抜いてゴールに入つた。後で本人に聞くと、五米の所に引いた横の線をゴールと思つてタッチし、顔を上げて見ると、遙か右の方向にゴールがあるので又急いで泳ぎ出した想だ。

まあどうやら一二着に入選したと安心したが、第二組の終ると共に纏めて發表された結果を聞いて驚いた。豊田の一着は順當として、二着がアリ、三着がノヒで高橋は等外に落ちてゐる。それで早速レフェリーのシソんにA組の高橋はどうしたかと抗議した所、決勝審判員に尋ねてくれと云ふので、チーフジャッジのナベルに尋ねると、審判員が一致した意見だから仕方がないと云ふ。此時ゴール面にとりつ

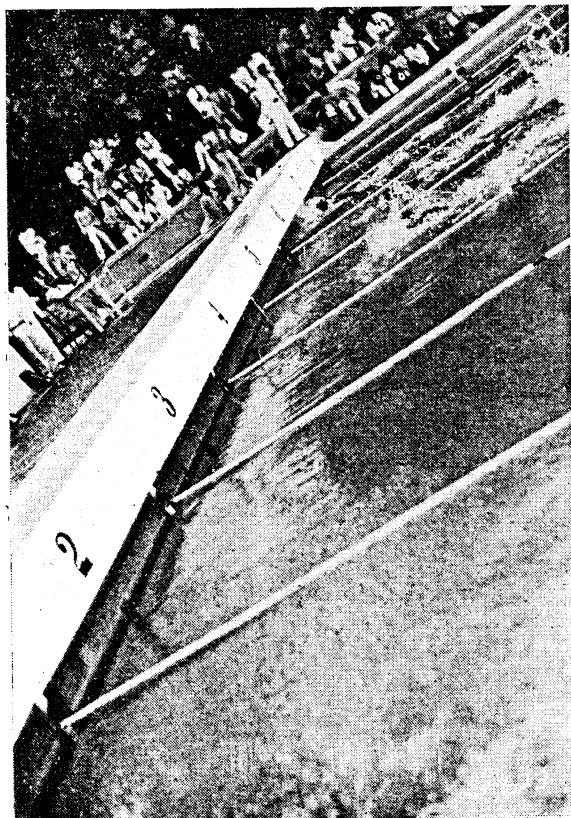
けた電気装置の結果を見ると明かに高橋が二着にタッチしてゐる。早速之を示したが、それは單に試験的に用ひたと云ふので、ちつとも参考にもしないものを何故用ひるかと押問答をしてゐたが、埒があかない。

北村等は憤慨して、方々に交渉に忙しい松澤・安部兩氏が居ないのを「鶴さんや安部ちゃんも社交に行つてゐるからこんな時に困る」とブツブツ云ふ。

審判主任に決勝用紙を見せて貰ふと、成程一着から順次に表れてゐるが、それは一人が一着他の一人が二着、他の一人三着と……と云ふ、最も誤りの多い方法で見てゐて、全員一致とは例へ實際の六着を一着と見ても、一着を六着と見ても一着から六着迄一人が一人の順位を書き出して、これがダブつたりしなければそれでよいのである。

それでその夜日本人クラブで安部君に依頼して、正式抗議を書いて貰ひ、それに無理に持つて來た電気装置の結果、寫眞を添へて提出した。この寫眞は肝腎の1.コースが入つてゐない高橋の水煙りが僅か入つてゐるばかりであつた(寫眞参照)。その抗議と共に、永い競泳審判法を書き、用紙迄騰寫判で刷つて送つてやつた。一時頃迄騰寫版を刷乍ら、オリンピックでも極東大會でも審判のやり方を教えるより、「競泳審判法」なる本を表して廣く世界に賣つたらどうかと笑つた。

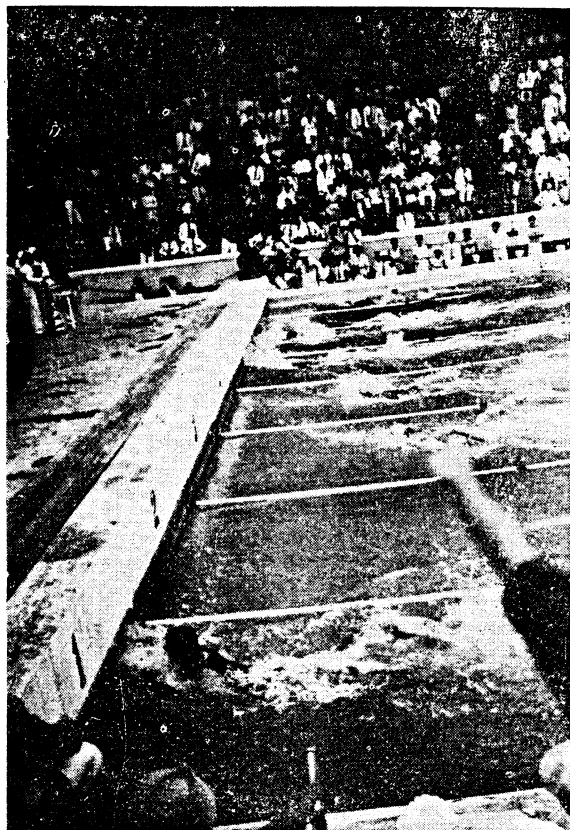
抗議書に添へて出した50米自、豫、一組の誤審寫眞



**五〇米自由形決勝
寫眞の語るミスジャッチ**

コース

- 1、竹村
- 2、陳振南
- 3、ハースマン
- 4、ルテイロ
- 5、高橋
- 6、豊田
- 7、ノヒ



発表着順 1着 竹村 2着 高橋 3着 ルテイロ 4着 陳振南

事實 1着 竹村 2着 高橋 3着 豊田 4着 ルテイロ

翌日A組、だけ四着迄決勝に出場せしめることになつたが、七人の決勝では益々まごついて又もや豊田の三着を五着にしてしまつた。

今度は明瞭な寫眞はあつたが、電気装置に豊田が三十二秒の所でタッチしたらしいものがあると、審判側はそれを楯にとつて頑張つたのは困つたが、三十二秒とは恐れ入つた。その晩我々はもう抗議する元氣がないが、あれは餘りに明瞭に日本が一三三であつたと寫眞を添へて申送つておいた。翌日之も認めて豊田を三着に入れたが、四着に入つてゐた支那の選手が等外におちた。この選手は寫眞で見るとこの寫眞が収め得る範囲には姿を表してゐないから恨みにも思ふまい。(寫眞参照)

要するにマニラの審判員は全然アンフェアな氣持はなかつたが、審判の方法、技術に到つては全く無知と云つてよい程であり、決勝審判と計時員は1.コース側に籬段を作つて行儀よく並んだのは體裁だけはよいが、後の方の多くの審判には1.2コースが見えず、タイマーは決勝面の延長より外側にゐる爲めに正確なタイムは期待出来なかつた。

こちらが抗議すれば、何でも聞く程、自信のない審判であつたため、何でも聞いてくれる事が却つてたよりない氣持ちで、いやであつた。

コース

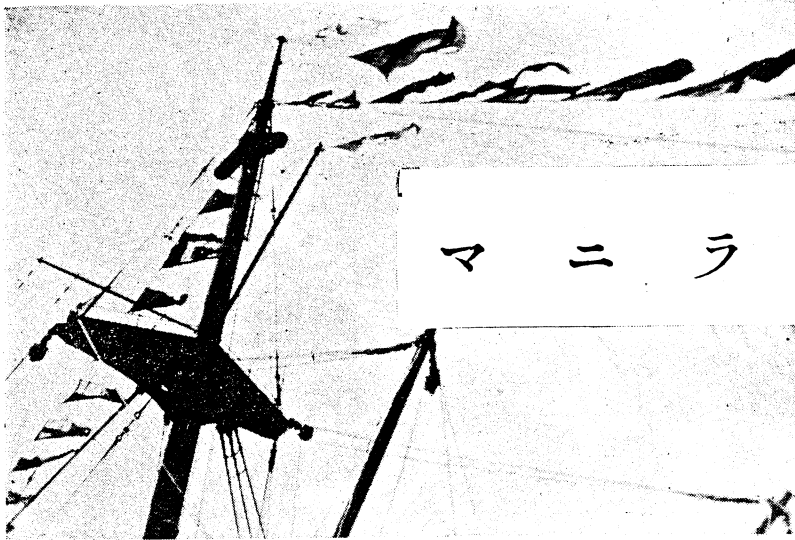
- 1 高橋
- 2 陳振興
- 3 劉寶希
- 4 ノヒ
- 5 アリ
- 6 豊田
- 7 ポルチイル

発表着順

- 1着 豊田
- 2着 アリ
- 3着 ノヒ

事實

- 1着 豊田
- 2着 高橋
- 3着 アリ
- 4着 ノヒ



マニラ漂流記

木村象雷

マニラに向ふ平洋丸には、ほんとに女の子一人だつて乗つてゐなかつた。ところで或る日一人の女性が乗つてゐるのだと云ふもつばらの評判、聞き耳を立てたところ、船尾に燕の夫妻がむつまじく住んでゐる。その奥さんが唯一の女性とあつて、一行やつと大安心。

船がドンドン南へ進むと、海の水が段々と甘くなつて来ると云ふ人がある。さては揚子江河口に近付いてゐるのだなと考へてゐると、なかにサトウ君が沈んだ方向に近寄つて来たからだなどと、悪るい駄洒落を飛ばす人があつた。

暑い暑い目的地マニラに、平穩無事の航路を終つて、五月七日早曉に到着した。誰云ふとなく、ハハア、マニラアサか。と飛ばす人もある。

私にとつては二度目のマニラだつたが、選手で来た時のマニラは、愉しく全く好奇心が身體中一杯だつたが、記者ともなればもうおしまひですナ。

朝六時過ぎから、夜は十二時まで、右往左往、無暗にかけすりまわり、その日が終ると、汗が乾からびて、顔中鹽がザラザラして、全くへバツてしまつたのだつた。

だが日本代表部策戦本部の松澤、安部御兩所は、朝眼をさますのが午前十一時頃で、目を眞赤にして眠い眠いと疲れ切つた身體を洗面所に運んでゐた。連日午前三時頃まで比島側の大員級の代表委員達と、議論又議論、あの手でゆかねばこの手と、表裏の策戦は、選手達のあらゆる努力よりも、もつと華々しいものであつた。

終ひには比島役員も全く疲労困憊してか、立役者バルガスなど御兩所が訪問するとへたばつてソファの上に普段着の儘ゴロネしてゐた事もあつたさう

だ。

だが一日、暇な日があつたと見えて御兩所が、我が水泳選手の練習時間にプールに現はれ、如何にも愉しさうに自分の選手達の練習ぶりをながめ、偉大な？ 枯木振りを發揮してゐるたがあれで随分疲れが癒つた事だつたらう。(枯木とは、老スイマーの事)

と云ふ私も御兩所さへプールに来て居れば、警戒する範圍が狭められたから、マニラでのたつた一度の、枯木遊びをした事は申すまでもない。

比島の水泳コーチは、バルトロメ醫學博士で、この人は自ら選手だつた事なく、泳ぎが上手いと云ふ話も聞かなかつた、純然たる理論コーチで、コーチ法はハードトレーニングオンリー。これについてゐたのが、イルデホンソの上官で、アーミーYの主事の格であるアルビエール氏でアシスタント。これが選手の名令役をしてゐた。

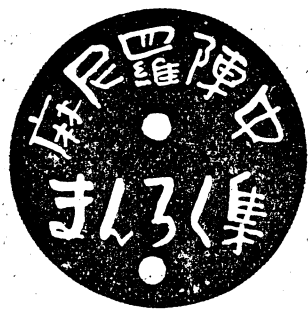
比島で活躍した選手の大半を占めるモロ島人は生活が、全く水邊で營まれてゐるから、五、六歳で既に皆よく泳ぐと云ふ話だ。

この泳ぎの先天的天才をプールでの練習に馴れさせる爲には、ハードトレーニングに限るとバルトロメが云つてゐた。

イルデホンソは、ハワイに於けるデューク・カハナモクと同じ意味で比島の王様のやうな人気者となつてゐる。

今度亦シギルムとやつて来るさうだが、代表選手諸君、比島語はまだ覺へてゐますかナ。マガンダン、タンハリ、アデイオス、(今日は、さよなら)(終)

附記 今夏の日本選手権に來朝を期待されたシギルム、イルデホンソ兩選手は軍籍の都合にて來征を拒つて来たことはまことに残念なことであつた。



マニラ出發前鶴岡監督が比島人に間違へられはしまいかと専らの評判だったが、意外に国籍誤審問題を一度も起さずに歸朝したのはNSR近ごろの不思議だと言ふので、一體どうした間違ひで間違はれなかつたらうか、と色々聞いて見た所原因は二つあるらしい、ひとつ同監督はマニラ滞在中なるべく英語などと言ふものは口にしなかつた事、もうひとつこれはまた比島人輩の斷じて真似の出来ない藝當をやつてのけたといふのは、まことに申すも勇ましい話だが宿舍滞在中は終始一貫して糸纏まぬ肉體美を發輝して押し通してミスター・なんとかと名前までもいだけただいのださうだ。これでNSR近來のなぞも解けたわけ。

ラ・サール・カレツヂの日本選手宿舍に着いて間もないある日の事、宿舍の勝手の判らない入江、小池兩君がウロウロ浴室を探してゐた、丁度その時、そこを通り合せてテニスの佐藤悳太郎君を比島選手だと思ひ込んでしまつて——はじめはこんな所に比島選手があるのはおかしいと一寸ためらつたが、見れば見る程まがう方なき比島選手——入江君思ひ切つて「Where is bath room?」とかなんとか少々無理をして尋ねて見た。

所が佐藤君は不意にしかも英語でなんか話し掛けたこの大男小男をまじまじと見比べてゐたがてつきり支那選手と思ひ込んでしまつて「ウン」とうなづいて見せて手まねでコツチダコツチダと連れて行つて教へてやつた。

入江君と小池君が浴室から水上の部屋に歸つて「さつき、そこでヒリツピンに浴室を教へて貰つたヨ」と大聲で水上の人達に話してゐると向ふの庭球の部屋でさつき比島人だと思つた佐藤

君が「さつき支那選手に浴室を教へてやつたヨ」と話してゐるので雙方氣がついて首をすくめて「ヤアヤアシマツタ」此の事が大分評判になつて遂に平沼團長のお耳に達し「雙方大日本帝國國民の代表選手たることを紹介せねばならぬ」と團長に紹介の勞を煩はしたとか。

大會の幕も開ちようとする廿日午後五時半、愈々暮色ソウ然とプールに立ちこめ、千五百米の決勝が始まらうとする頃、プール場内はまさに戰氣漲り、觀衆の熱狂は最高潮に達して居ります。とは云へ日本選手達は實力を良く知つてゐるから大して熱狂もしてゐないのだが、驕つて選手がスタート臺に立ちなんだが、この時奇怪千萬にも牧野選手のコースの中に木片が、ゆらりゆらりとゆらめいてゐるではないか。

選毛役員もこれに氣がついて、誰か身を挺してこの大障害物を取り去るものやあると、ちよつと坐が白け渡つた。そこへ現れ出た一選手、ダブルとばかり飛び込んで、衆人還視の中に英雄的行爲をやつてのけた。折からスタンドの中央、マイクロホンを前にして實況放送に熱辯をまくし立ててゐた松内アナ氏、ちよつとマイクから離れて「今飛び込んだのは誰だ」と尋ねる。鶴岡監督即坐にあれば「アリ選手だよ」と教へると、松内氏マイクに戻つて「只今比島アリ君が飛び込みました。木片を拾つてゐます。日本選手は口毎にアリがたうと云つて居ります」とやつた。坐に居る日本人笑ふまい事か。和やかな一場景。

且つては水上の選手として前回マニラ極東大會に出場した木村象雷君。今度は新聞人としてマニラに特派されることとなつて支度金として金一封を頂いた。幸か不幸か丁度それと時を同じうして象雷君前齒の修繕をして相當派手な入れ歯をほどこしたので何處へ行つても「支度金で入れ歯したんだらう」と言はれる。一度日本チームが不参加になりそうになつた時など「象ちゃん、どうする氣だ、入れ歯を返すつもりかい?」と心配氣に言ふ人さへあつた。

また行くことに決定すればしたで「ホツトしたらうと」言ふ、象君しばらくの間は入前でうつかり笑はれず口を抑へて「ウフムウフム」

入歯をしたためか象雷君洒落が仲々うまくなつてマニラ歸朝後、聯盟でS君をつかまへて

「往きの平洋丸で選手達は甲板で盛んに練習をするのでバレー・ボールやバスケット・ボールを時々海の中に落してしまふ事があつた。或る日陸上の選手が練習中十六ポンドの砲丸を海に落してしまつた。丁度玄海灘にかゝつてゐたのでフカが、何か甘い餌かと思つてパクリと呑んでしまつた、幾ら水の中でも十六ポンドの砲丸では仲々重い、フカはいくら泳いでも玄海灘の底へ底へと沈んで行く、そこでフカ君曰く「フカイフカイ」と。こゝまで言つて象君入歯を出してニヤリと笑ふ。

その入歯を見たS君が矢庭に今の洒落の訂正方を申し出た。「象ちゃんそれは違ふだらう、そのフカが砲丸を呑んだ時ツイ誤つて前齒を折つたんだ、そこでフカ君曰くマニラに行きたい、マニラに行きたい（マニラに行けば入歯が出来る）」ト。

極東大會の留守番を承はつて忙しいNSR事務所にケク、マしく電話のベルがなる柴田君が慌て出て見ると聞きなれた聲で「こちらは早大水泳部の合宿ですが、極東選手のマニラの宿舍はどこですか?」と言ふ、選手に激勵電報でも打つのだらうと思つて「マニラ・サール・カレツヂですよ激勵の電報でも打つんですか?」とひどく感心して聞か「インニヤ違ふ、選手に土産の催促を出す」



これは又夏らしき——

暑熱回想之記

マニラ・インプレツション・第一號

松澤一鶴

スポーツの事を出掛る旅であるからには、せめて競技だけは楽しめるものと思つて居れば、今度の極東大會では全くあてが外れて終つた。同じ水上聯盟同志の安部と僕が、大日本體育協會の先發代表として選ばれて一船早く出發したが、始めつから忙さの連続であつた。その上に終始何とも云へぬ急迫した心持の日は續いて、競技が愈々始まつて見た所で特別に日本が勝つてくれなければならないと言ふ様な氣も起らず、日本チームの本部からは距離にして二、三百米しかない所で展開して居る競技が、何だか他人事の様な氣さへした、その中でも水泳だけは何とか時間を都合して應援しやうと心掛けては居つたものゝ極東大會の會議はせまつてくるし、それすら意にまかせなかつた。こうなると同じ忙しい思ひはしながらも、水泳選手諸君と一緒に心

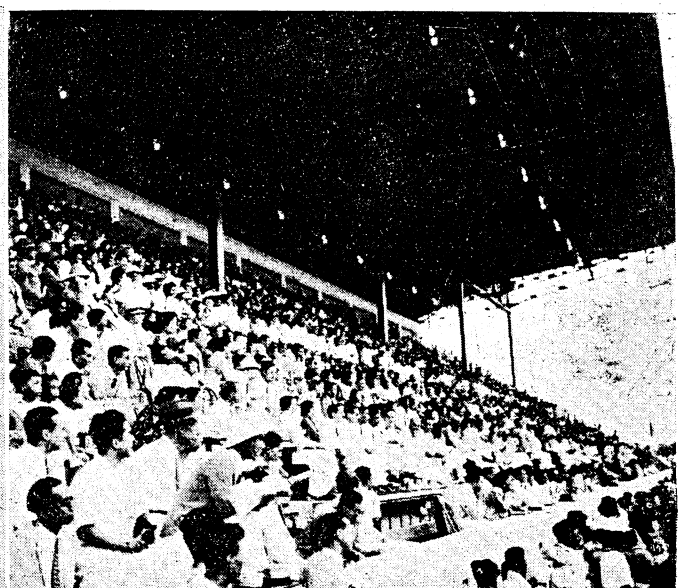
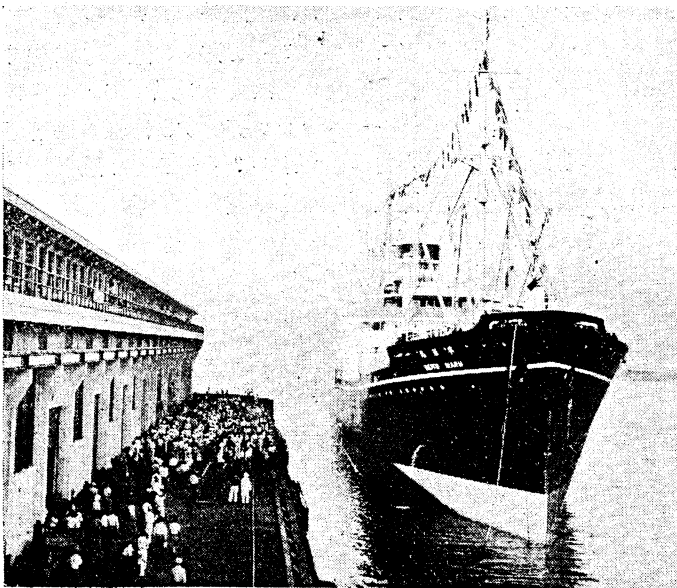
配もし喜びもしつゝ競夜を見たロスアンゼルス頃のふと懐しむ心持にならざるを得なかつた。

極東大會を回顧せしめられて、第一印象に浮び上つてくるのは此の忙しさとそれから暑さである。と、かう記す事は従つて今度の大會の水泳の方はあまり詳しくは存じませんですと言ふ豫防線でもある。

安部君と共にマニラに先着する事、日本チームより一週間、百五十人の一行を迎へる準備をする爲にも決して充分な時間ではなかつた。従つて手を分けてテンテコ舞をさせられた事前述の如くであつた譯だが、その忙しさに物凄き暑さを掛合せて出て來る答はドンなものになるか、諸君御存知ですか、我々水泳チーム諸君の口癖ではないけれど「疲勞困憊」そのものであつた、殊に日本チームがマニラに到着した二日目位までの暑さは、このまゝ續いたらば終りまで持つまいと私になげかざるを得なかつた、室内の温度が三十二・三度位あつて、顔を上げ下げする度に汗が床の上に落ちる様な時に、土地の人から「今年は妙に涼しいでして」などと言はれた時にはもう義理にも御世辭にもマニラは結構ですとは言ひ切れなかつた、しかしこゝで三週間の暑熱の修行が積まれたせいか、日本の六月に歸りついた僕は暫くは皆が暑いと言ふのに、さ

日本チームを乗せた太平洋丸マニラ埠頭到着

水泳場スタンド



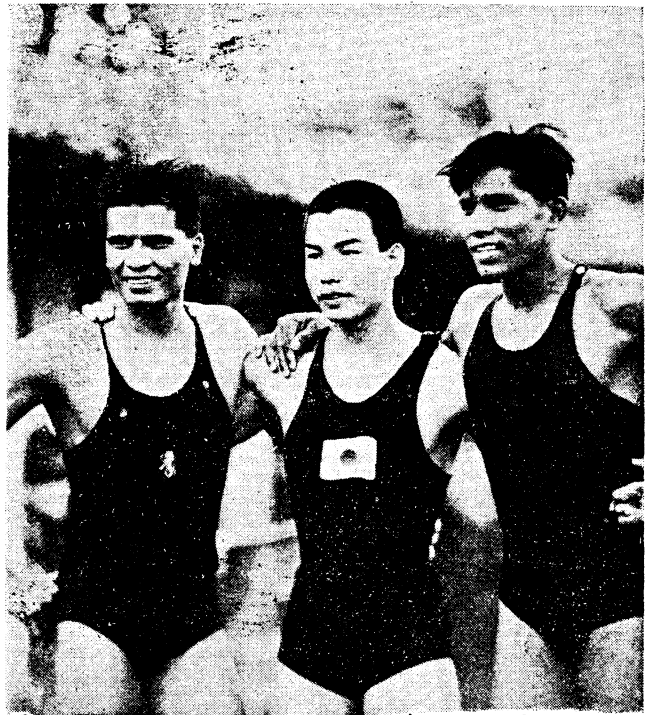
ほどにも思はなかつたし、その上これから暑くなつて夏になると云ふ感じが出ず、夏休みの終つた九月初めの様な錯覚をさえ起させられたから妙なものだ。朝起きたからと言つてはシャワーを浴び、外出前に服を着更へると言つてはシャワーを浴び、遂に一日に七、八回もシャワーを浴びざるを得なかつた思ひ出は親しめぬ乍らも、マニラの第一印象としては何と言つてもこれである。

そして暑い時には衣服の類は段々に薄くして極限として裸までは許容さるべきものと我々は考へ、殊にマニラに於ける日本チーム本部も、選手宿舎のラサール・ドルミトリーも何れも女人禁制の世界であるだけに安心して屢々その極限まで自由権を行使して當然と思つて居つたら、「どうも水泳の奴等は裸になりたがる」と評判をとつてしまつた。こゝらがやつぱり河童の本性でしたカナ。

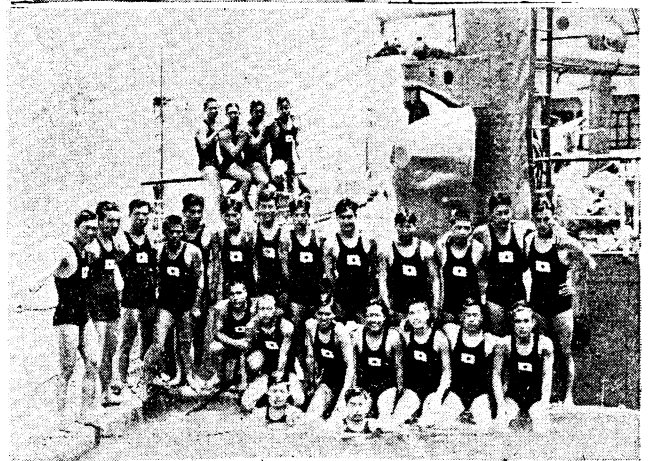
多分ソノ爲でせう。我等名譽ある水上聯盟選出の二代表に、コレハ又自分の口の悪い事だけは治療する事の出来ぬドクター水町氏がミスター・オボンボンとミスター・オチンチンとは命名しちまいぬ、どちらがどちらとも申し上げ兼ねるんですが。

とにかくマニラは苦熱なりきでした。

二百米平泳優勝者右よりイルデフオンソ・小池・ジキラム

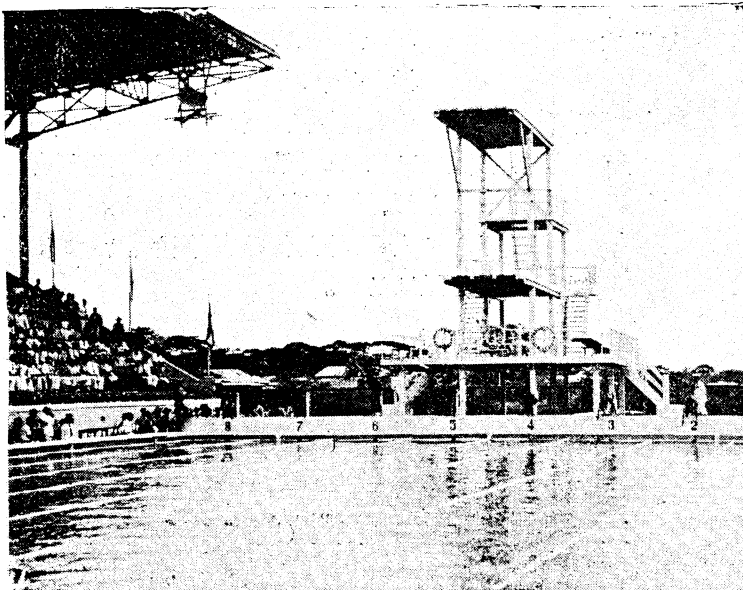


平洋丸カンバスプールの日本水上チーム



プール 風景

右、一毫も取れなかつた支那選手



早慶對抗水上競技

齋藤 巍 洋

シーズン劈頭を飾る第八回早慶水上戦は快晴に恵まれた六月十日の午後一時から神宮プールで舉行された。牧野・小池・横山・入江・新進新聞等、世界的のスウイマー達の動員だ。勝敗の数は明らかに早大に分があつてもインターカレッジ水球リーグのナンバーワンを決する日また、飛込競技も今回から独立した對抗種目としたので、競泳、水球、飛込競技の三つに、早慶の猛者は懸命に戦つた。

記録的に観れば極東代表選手のいづれもがマニラ遠征の疲れ未だ慰えず、唯200米平泳で小池選手が2:44.4の好記録を出して力泳したのみで他は餘り振はなかつた。

早大は競泳に大勝し、八年連覇の偉業を樹て、大接戦であつた水球にも優勝。慶應は得意とする飛込競技で優勝した。次に各種目について戦ひの跡を顧みよう。

競 泳

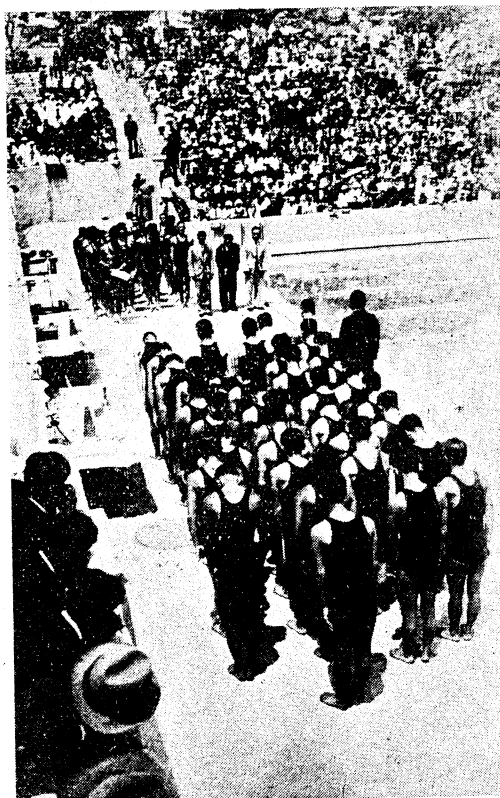
早 31—8 慶

400 米 自 由 形

1. 新聞 六炳 (早) 5:01.3
2. 田端 三郎 (慶) 5:10.0
3. 片岡寅次郎 (早) 5:10.2

横山の不出場で新聞の獨舞臺、5分1秒8の記録はあまり芳ばしくないが、最初力をセーブして後半に入つてから強力なストロークで力泳する邊り、横山の元氣な時代を思はせた、今少しピーチングに自信をつけ、腰の安定を計り、前半のペースを縮める様な工夫をすれば、將來を大いに期待される。新進田端(慶)の片岡(早)を敗つて第二着に食ひ入つたのは偉かつた。未だ泳ぎに凄味が無いがこの元氣

で大いに不振の慶應自由形陣のために健闘して貰ひ度い。



早慶兩軍の入場式

100 米 背 泳

1. 入江 稔夫 (早) 1:12.8
2. 勝久 重隆 (早) 1:15.0
3. 井上賛二郎 (慶) 1:15.2

入江(早)の勝ちも當然であるが勝久(早)井上(慶)が大接戦でゴール前で勝久よく逃げ込んで二着、しかし井上の將來も期待される。

100 米 自 由 形

1. 阪上安太郎 (早) 1:00.2
2. 志村 義久 (早) 1:00.4
3. 河石 達吉 (慶) 1:01.4

坂上、志村(早)河石(慶)の争ひとなる。志村滑り出しよく50米では二搔もリードしてそのまま逃げ込まんとあせつたが75米邊から坂上猛烈なスタートで志村に迫りタッチの差で坂上勝つ、坂上1分0秒2、志村1分0秒4だ、志村に未だ充

分な試合度胸が無いから混戦となればフォームが亂れるのだらう、試合にはこの様に最初から飛出す戦法で再三試みる事だ、59秒臺が期待される。75米邊から出て三着に入つた河石の泳ぎ振り、いつもながら試合巧者を思はせる。

200 米 平 泳

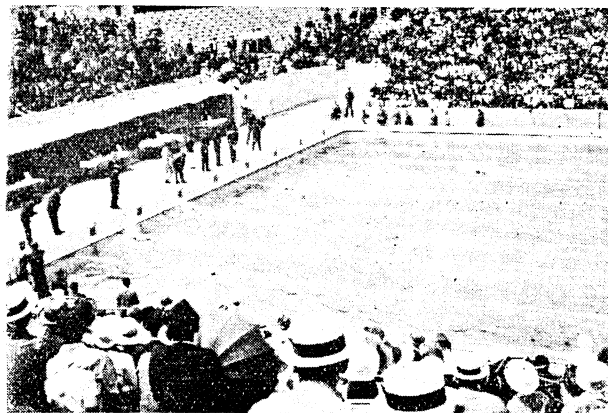
1. 小池 禮三 (慶) 2:44.4
2. 古莊 次平 (早) 2:55.0
3. 高島 秋介 (慶) 2:56.0

小池の100米 1:17.0 長久(慶)は高島とタッチの差、

小池(慶)マニラでの敗戦を記録によつて挽回せ

シーズン劈頭の飛沫

しものと世界記録を目指して飛び出した、100 米では 1 分 17 秒、昨年同君が 2 分 44 秒 2 で泳いだ時のラップタイムよりポイント 6 秒よい。記録員席では色めき立つた。150 米までふつ飛んだ、されど最後のラップでがくつと調子が落ち、遂に 2 分 44 秒 4 で世界記録を逸した。二着を古莊(早)高畠(慶)が争つて古莊元気で二着に入ったが、高畠 100 米で小池に 5 米餘も引離され後半弱る様では心細い。各選手ともスプリント、頑ん張りの練習が平素の練習に足りない様だ。

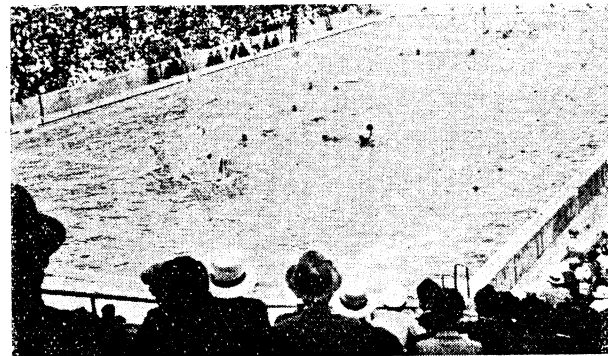


百米自由形 ゴール

200 米 自由形

1. 新聞 六炳(早) 2:16.6
 2. 横山 隆志(早) 2:19.4
 3. 片岡寅次郎(早) 2:20.5
- 田端(慶)は約 1 米で四着となる。

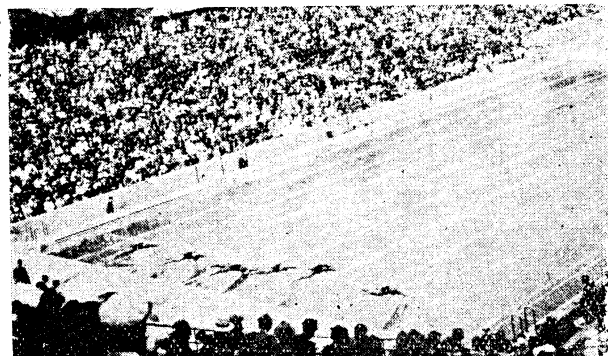
田端(慶)はスタート直後から 70 米へかけて新聞(早)と並行した。新聞は 100 米で 1 米リードすれば田端、横山、片岡等は頭を並べて續いた。田端は最後のターンで衰へ、片岡危く半米勝つて早の全勝に期した。往年の雄横山も一着を新聞に委ね、片岡・田端等と同列で苦闘した。今一度昔日の元氣を見せて欲しいものだ。



慶應木村のシュートによつて一點を返さんとす

1500 米 自由形

1. 牧野正藏(早) 20:05.0
 2. 永見達明(早) 20:20.4
 3. 田中一男(早) 21:17.8
- ラップタイム



八百米 スタート

100	1:10.8 (牧野)	200	2:28.4 (牧野)
300	3:48.2 (〃)	400	5:10.0 (〃)
500	6:31.6 (〃)	600	7:54.0 (永見)
700	9:15.0 (永見)	800	10:37.4 (牧野)
900	11:58.8 (牧野)	1000	13:19.8 (〃)
		1100	14:41.4 (〃)
		1200	16:02.6 (〃)
		1300	17:24.2 (〃)
		1400	18:47.6 (〃)
		1500	20:05.0 (〃)

牧野は足のビーチングにいつもの力なく、十分な出来栄ではなかつた、永見は 600、700、800 米と一度はリードしたが未だ泳ぎはギゴチなく。二着となつた。三着を田中(早)小森(慶)と争つたが、田中は 500 米から抜かれたが小森は最後 200 米邊で速力衰へ、早の全勝に期した。

800 米 リレー

1. 早大 9:30.6

新聞六炳、横山隆志、牧野正藏、坂上安太郎

2. 慶大 9:45.8

田端三郎、前川重樹、小森正巳、河石達吾

最後の差は 19 米となつたが、早大のカンカーたるべき横山が二番に泳いで、2 分 23 秒で疲れを見せた。慶應の新人田畑がスタートを承つて、強剛新聞によくついたのは豪かつた。

飛込競技 慶 31—18 早

傳統の強さと、經驗を積んだ杉原などのるる慶應チームの

前には早大は最初の對抗に敗退するの止むなきに至つた。高逆飛の三位に小林が入つたのはせめてもの慰めだ。

水球競技 早 2—1 慶

水球は全國學生水球リーグの決勝戦を兼ねて行はれた。早大はHB坂上の活躍とスピード、慶應はハンドリングとパスワークの巧みさで戦前から両チームの混戦が豫想されてゐたが、案の定最初から白熱戦を演じた。

前半 早大はスピードを利用して慶應陣を壓迫すれば慶應もまたHB澤海の好防で得点を許さず。4分頃早大坂上自陣10ヤード邊でボールを奪ひ單身ドリ

ブルして敵ゴール前に迫り、高木のノーマークになるや、高木にパス高木シュートして一点を先取した。

後半 早大餘りスピードで敵のマークから離れ過ぎるため返つて慶應有利となり、1分10秒には慶應澤海自陣からドリブル、木村にパス木村のシュート定まつて同点、その後は慶應漸くコンビネーションを取りかへし優勢に攻めたて、しばしばロングシュートを試みたが入らず。同点のまま延長戦となり兩軍五分の試合を進めたが、前半2分30秒、早大坂上中央線から高木にパス高木から坂上にパスしたが、ボールを逃しゴール前の混戦となつたが、志村のショートパスを坂上受け、そのままゴールに叩き込んで決勝の一点をあけ結局 2—1 で早大勝つた。

早 慶 戦 の 飛 込

山 内 辰 雄

今年度から一つの選手権種目となつた早慶戦の飛込競技に早大が飛込選手をどこ迄仕上げ得るか云ふ事に興味を持つて見物した。そして一言にして言へば老好杉原の率きる華かにも多数の慶應軍に對して新進の三人が、兎も角飛込に於て十種目を揃へてよく眞剣に飛んだと言ふ處。早大三人は踏切が本格でない爲、弱々しい飛込ではあつたが、三人の中では山田君の伸びに相當見る可きものあり、小林君は頭の方が發達して技これに伴はずと云つた乗込だつた。變に巧者な飛込をせずもつと力一杯行つたらあの身體で大きな見栄へのする飛込が出来たであらうのに。大塚君の膝は相當に強いが、少し身體が細過ぎるので板をよく踏んでる割に身體が樂に跳ね上らぬ爲、相當無理な飛込をやつてゐた。慶應で一番期待した新進片岡君がえらく上り氣味な上、踏切の時の腕の振り方が本格でない爲、あたら良いスプリントを持ち乍ら身體が樂に浮かず、甚だ小さな飛込を見せられてガツカリさせられた。併し當日第一の最高難易率であつたモルの一回半を樂に廻した當り將來の大物たる片岡を見せてゐた、生江君の踏切、特に走り飛びのは非常に巧くなつた。明大にゐる兄貴のより無理がなくて美事だ。只併し一體に力が不足なのは惜しい。走前宙返り一回半の入水は當日第一の美事さだつた。將來の慶應飛込團は生江、片岡君に依つて益々光りを増そう、兩君の眞剣な今後の練習に期待をする。杉原君は未だに競技馴れがせず兎角考へが先へ走り過ぎてゐる様で、助走に落着きなく何れも多少づつ身體が前へ掛つた踏切をやつて

捻りものに大きな破綻を見せて了つた。後踏切前飛びものも相變らず他の種目に比べてぐんと落ちる。がそうは云つても後宙返り一回半とモル一回では流石に大物の貫祿を見せ、この二つで當日の飛込競技は俄然光つた程だ。

高逆飛は慶應が杉原君に新手の門倉・伊藤君を加へたに反して人のない悲しさ、早大は飛込の三人をそのまま使つて全々練習不足を暴露した飛込を見せて了つた。早大の三人10米に少しも馴れておらず、入水角度が極つてもその感覚が解らず、腕の突込みフォームが遅過ぎて何れもオーヴァしてゐた。杉原君は10米の走でフォームを急ぎ過ぎて投げられたが、立て美事なフォームを見せ門倉君に危ぶなく勝つた。門倉君の10米の走は物凄く大きな飛込だつた。併し入水時の腕の突込みはあれでは餘りに形が付き過ぎて見つともない、門倉君の進歩は身體の伸びが目立つて良くなつて來た事だ。伊藤君は腹で反るのでオーヴァする率は少ないが、力の弱いのと共にフォームに點が付き難い、併し腰から下の伸びは早大の山田君と共に良い伸びを持つてゐる。小林君が慶應のトリオを破つて三等に喰ひ込んだ事は早大飛込團の爲に大いに祝福してよからう。

最後に、シーズン始めとは云へ選擇飛に前半回捻りや後宙返り一回、後踏切前飛び等をやつた者多かつたのは物足りなかつたが、この競技會を見て杉原君は勿論だが、早の山田、慶の生江、片岡君の全日本選手権に於ける活躍を大いに期待したい。

明治・日本・立教 三大學對抗水上競技

宍 道 洋 一

昭和九年六月十七日、神宮プール 気温 23°.0 水温 22°.0

日本水泳界の第一線に立つべき東都カレッジの選手がシーズンの開幕に當つて如何なるコンディションにあるか、又新人諸選手が如何なる活躍を示すかは少くとも水泳ファンにとつて一大關心事ではなければならない。此の意味に於て、早慶對抗戦に對すべき此の三大學對抗競技の生れたことは一つの大きな喜びである。而かも對校競技として見るならば早慶戦に出づること數等であり。實質的にも日本水上競技の一大イベントである。唯極東大會の問題に擲んで明治の石原田・河津二選手が出場出来なかつたのは甚だ残念である。早く問題を解決してお互にサツバリした氣持になりたいものである。

明治の二豪が出場しない以上、日大の優勝は確定的のものであつたが、更に特筆大書すべきは立教が最大能力を發揮して明治を三位に蹴落したことであつた。齋藤巍洋氏を先輩に持つ同校は長い間鳴りを靜めて居たが最近本田・筒井の二豪を得更に主將根上の異常の進歩に依り且ては學生競技選手權を保持せる明大を破つたのはカレッジ戦線異狀ありと言はざるを得ない。立教の活躍に比べて明治はその過去が花々しいだけに慘めな敗北だつた。武村・片山・鈴木(政)・大横田何れもオリンピック選手である。これだけでも堂々たるチームだ。明治の選手諸君よ、日本水泳界は諸君に期待すること甚だ大なるものゝあることを忘れ給ふな。

競 技 成 績

100 米 自 由 形

1. 豊田 久吉 (日大) ————— 1:00.8
2. 遊佐 正憲 (日大) ————— 1:01.2
3. 鶴岡 榮 (立大) ————— 1:02.6
4. 片山 兼吉 (明大) ————— 1:02.6
5. 大横田 勉 (明大)
6. 篠塚 陽助 (立大)
7. 森崎 勇 (日大)
8. 下平 登 (明大)
9. 由本 重善 (立大)

遊佐は極東大會の疲れか全く昨年の面影はなかつた。一日も早く回復して遊佐らしい所を見せて貰ひたいものである。良くとも六位と思はれた鶴岡が片山を破つて三等に喰ひこんだことは賞讃すべく立教短距離界もインターカレッジには相當の波紋を投ずるであらう。

200 米 自 由 形

1. 豊田 久吉 (日大) ————— 2:19.6
2. 武村 寅雄 (明大) ————— 2:21.4
3. 大横田 勉 (明大) ————— 2:21.4

4. 鶴岡 榮 (立大) ————— 2:23.8
5. 中村 強輔 (日大)
6. 遊佐 正憲 (日大)
7. 田野 耕清 (立大)
8. 篠塚 陽助 (立大)
9. 下平 登 (日大)

出るか出るかと思はれた遊佐は遂に最後迄出す六位に甘んじてしまった。武村は昨村に比べて元氣の様だが凄味がない。

400 米 自 由 形

1. 根上 博 (立大) ————— 4:54.6
2. 本田惣一郎 (立大) ————— 5:02.8
3. 杉本 盛 (日大) ————— 5:04.2
4. 森原 幸彦 (日大) ————— 5:18.8
5. 武村 寅雄 (明大)
6. 中村 強輔 (日大)
7. 隈元 正賢 (明大)
8. 田野 耕清 (立大)
9. 木曾原忠夫 (明大)

立教主將根上の躍進は素晴らしい。長水路で55秒の切れる選手は世界に十人とは居ない。極東大會で活躍した本田は疲労にも拘らず元氣な所を見せてる



●三大學對抗に元氣な所を見せた立教根上博君●

るし、平泳の雄、葉室と共に修猷館より日大に入つた森原も將來を囑望される選手である。

根上のラツプタイム 1:07.2 2:21.8 3:39.0

800米自由形

1. 根上 博 (立大) ————— 10:25.0
2. 本田惣一郎 (立大) ————— 10:30.2
3. 杉本 盛 (日大) ————— 10:56.4
4. 森原 幸彦 (日大) ————— 10:56.8
5. 隈元 正賢 (明大)
6. 桑野 正實 (明大)
7. 岩崎 三郎 (立大)
8. 篠 忠夫 (明大)
9. 木曾原忠夫 (明大)

ラツプタイム 1:08.4 (根上) 2:22.0 (本田)

3:42.0 (以下根上) 5:02.8 6:21.4 7:43.4 9:06.2

100米背泳

1. 河野 隼 (明大) ————— 1:15.6
2. 秋吉 龍二 (明大) ————— 1:16.2
3. 鈴木 政雄 (明大) ————— 1:16.4
4. 鈴木 重勝 (日大)
5. 秋吉十九夫 (日大)
6. 松下 信一 (立大)
7. 山田 薫 (明大)
8. 田中邦太郎 (立大)
9. 古川 正 (立大)

修道中出身の新進、河野が始めからリードして勝つたのは一寸意外だつた。秋吉兄弟、山田もまだ本調子が出ない様である。鈴木(政)の名を見るのも久し振りで嬉しい。

200米平泳

1. 葉室 鐵夫 (日大) ————— 2:49.0
2. 岡田 達男 (日大) ————— 2:53.6
3. 筒井八男治 (立大) ————— 2:54.6

4. 伊藤 三郎 (明大) ————— 2:56.8
5. 奥藤 修 (明大)
6. 杉浦 武夫 (立大)
7. 安永 弘 (日大)
8. 山田 卓平 (立大)
9. 寺田 忠雄 (明大)

極東大會で思はぬ敗北を見た葉室は歸つて来て返つて元氣になつた。極東選手中歸朝後元氣なのは小池・葉室の兩人であるのも一寸面白い。岡田・筒井は昨年よりずつと良くなつたが、奥藤は實力を持ち乍らいざ決勝となると何時も香しくない。同君に戦闘意識が欲しいものだ。葉室の100米は 1:19.8

800米リレー

1. 日本大學 (杉本、中村、森原、豊田) 9:28.6
2. 立教大學 (根上、鶴岡、田野、本田) 9:30.6
3. 明治大學 (下平、片山、大横田、武村) 10:07.8

日大對立大のレースは本大會の白眉だつた。立教のアンカー本田は豊田に4米近くおくれでスタートしたが、盛に追泳し750で殆ど同じターンをし以後互に顔を見つゝ接戦、満場總立ちとなつた。併し最後の20米で豊田は短距離泳者の得點を利かせて3米の差で逃げこんだ。敗れたりとは言へ、本田の奮闘は激賞さるべきであらう。之に反し、明治がトップに下平をおいたのは大なる失敗であつた。これが爲闘志なき片山が不甲斐なくも遊び、涙ぐましい迄の主將大横田の奮闘もその甲斐なく、10分臺といふ恥づべき記録を印してしまつた。

300米メドレーリレー

1. 日本大學 (秋吉兄、岡田、遊佐) ————— 3:33.0
2. 明治大學 (鈴木、奥藤、片山) ————— 3:35.8
3. 立教大學 (松下、筒井、鶴岡) ————— 3:41.8

明治のトップ鈴木が元氣に泳ぎ、日大の秋吉を稍々リードして平泳に移つたが奥藤、元氣なく、岡田に4米近くもリードされて勝敗は決した。立教はチームとして背泳に人がないのが一大缺點である。

得點 日本大學 121 點 立教大學 85 點
明治大學 82 點



小池の記録公認されず

極東大會歸路香港に於けるエキシビションゲームに小池禮三君の作つた200碼平泳2:28.4(25碼水路)の記録の世界新記録の公認方をFINAに申請した所、FINAには已にカルトネ(佛)の2:25.6の記録が公認されて居り小池の今回の記録は非公認となつた。

第十一回 早大・關學對抗水上競技

關東及關西インタカレツヂの兩雄早稲田對關西學院の水上競技は隔年東京に神戸に行はれ回を重ねること十一回に及び、本年は六月二十四神戸市民運動場プールにて行はれ競技成績は次の様であつた。 氣温 24° 水温 22°

50米自由形

- 1 高橋 成夫(早大) 0:26.4(大會新)
- 2 竹村 公良(早大) 0:26.8
- 3 志村 義久(早大) 0:27.2
- 4 森岡 政之(關學)

100米自由形

- 1 志村 義久(早大) 61.0
- 2 阪上安太郎(早大) 61.2
- 3 高橋 成夫(早大) 61.2
- 4 森岡 政之(關學)

200米自由形

- 1 新聞 六炳(早大) 2:18.0

- 2 田中 一夫(早大) 2:21.2

- 3 片岡寅次郎(早大) 2:23.8

- 4 佐藤 征(關學)

400米自由形

- 1 牧野 正藏(早大) 4:56.6

- 2 新聞 六炳(早大) 4:57.2

- 3 永見 達明(早大) 5:00.6

- 4 西田正四郎(關學)

800米自由形

- 1 牧野 正藏(早大) 10:18.8

- 2 永見 達明(早大) 10:28.4

- 3 片岡寅次郎(早大) 11:24.2

- 4 西田正四郎(關學)

100米背泳

- 1 入江 稔夫(早大) 1:12.6(大會新)

- 2 角野 二郎(關學) 1:14.4

- 3 勝久 重隆(早大) 1:14.6

- 4 清政 武夫(早大)

200米平泳

- 1 大崎卯藤久(關學) 2:56.4

- 2 山田 弘(早大) 2:58.2

- 3 古莊 次平(早大) 2:49.4

- 4 前田 倍三(早大)

200米リレー

- 1 早大(竹村、阪上、志村、高橋)

1:47.2

- 2 關學

1:51.2

800米リレー

- 1 早大(牧野、田中、新聞、志村)

9:35.2

- 2 關學

10:13.4

300米メドレー

- 1 早大(入江、山田、阪上)

3:34.4(大會新)

- 2 關學

3:37.2

早大 130 — 關學 62

(41頁世界情報より續く)

同 1:09.8 (リレー中)

尙此の時2着になつた A.ブリツヂエスも 1:11.4 といふ世界新記録を作つた。舊記録は 1:11.6 である。又ホルム夫人は、リリアン、アーウィン(平)、ドロテア、ドイツキンソン(自)と300碼リレーに於て 3:42.6 の新記録を出した。ロスアンゼルスの大會でマヂソンとデットヒートを演じた L.カイトはその後餘り香しくない、平泳の A.ゴベドニツクも、新進の D.シンスに押され勝ちである。飛込界では、D.ポイントンと K.ロールスが五角の勝負をやつて、第一線を構成して居る。

歐洲事情

歐洲の男子水泳界は新人全く出でず依然不振を續けて居るが女子界は全く素晴らしい活況を呈して居る。殊に小國和蘭の躍進著しく來るべき伯林の大會に於ては地の利を以て大國アメリカと堂々太刀打が出来るであらうと思はれる、自由形に於てはデンウーデンを始めゼルバツハ、マステンブロック、チンメルマン、オーベルスロート等、何

れも100米1分10秒内外の實力を有し、殊にデンウーデンは最近リレー中ではあるが 1:04.3 といふ男子を陸若たらしめるレコードを出して斯界を驚かせ、背泳に於ても國際的に見て男子のコヂヤツクにも比すべき記録を出して居る。又平泳にも吾が前畑級のキャストインを有しその他、背泳にブローウェルス、パウマイスター、オーベルスロートが居り、各種目とも缺陷のないチームである。人口は吾國の十分の一にも満たぬ北歐の小國が斷然世界女子水泳界をリードして居る状態は、我國男子競泳に於て世界に冠たる以上に輝しいものである。

獨逸に於ては前號にも述べた通り、伯林大會への準備として各地で“Olympia Kursus”を開き、盛にナチス振りを發揮して居るがその割に實績が上らぬ様である。男子ではこれといふ新人も出でず依然自由形のダイタース、フイツジャー、背泳のキユツペルス、平泳のジータス、シユワルツが第一線で活躍して居り、飛込はエツサー稍衰へ、スーラウンに時々押へられて居る様である。女子にあつては最近自由形に新

人アーレンドが出て、新記録を出してゐるが和蘭軍に比べれば問題ではない。併し平泳は傳統的に相當の強みを有し、而かも新人がどしどし出てくる所は、前畑のみに頼る我が國からみると羨しい。ドライヤー、ゲネンゲル等何れも前畑級の新人であらう。飛込はヨルダン夫人が依然第一人者の様である。

丁抹は二巨星アンデルセン、ヤコブセンが國際水準に達してゐるのみで男子は全く問題外である。

佛國は例のタリス、カルトンネの他に、シエーベルが元氣の様であるが、此の三人も日米の諸選手に比べれば太陽の前の月の如く、我々の脅威たるべき存在ではない。而かもカルトンネは自由形に轉向して全く振はず、100米も1分2秒内外をウロウロして居る有様だから佛國水泳界も惨めである。

洪牙利は一時バラニー以下多數の猛者を揃へて、歐洲を席捲したこともあつたが、今は全く地に落ち僅に水球に依つて水上競技の命脈を保つて居るに過ぎぬ。(宋道洋一記)

太田正隆博士の長逝を悼む

日本水上競技聯盟顧問 石本 四巳 雄

太田正隆博士には僅か十日にも足らぬ臥床で永眠されたと聞いて、吾々の驚きと悲しみとは如何ばかりであつたであらうか。永い間水泳を通じて博士と親しくして居た吾々には其後屢々思出を新にする機会が多いのである。毎年七月上旬開催される水泳指導者講習に際しては常に水泳者に必要な醫學上の知識を壇上から懇々と説かれたのであるが、今夏の会場にはも早や博士の姿は現れず、一段の淋しさを感じずには居れないのである。

博士は幼少の時から水泳に親まれた關係上、青少年の水泳に關する醫學上の指導は全く行届いたもので、在來の水泳選手の中には、博士の診断を受けぬものは殆ど無いと云ふ状態であつた。博士の選手達に對する態度は極めて懇切で水泳上の注意は固より、食餌の注意に至るまでも懇に諭され、其の結果として健康を害した一選手の

如きは其の再起も疑はれたのであるが、やがて水に親しむ様になり遂にオリンピック競技にも出場して優勝の榮譽を克ち得た程である斯様に慈父の如く各選手の健康相談に應じた事は選手一同の終生忘れ得ぬ所であるが、聯盟關係者一同においても今日日本水泳が世界に冠たる榮譽を擔つて居る其の背後に、斯様な醫學的指導のあつた事を決して忘れる事は出来ないのである。なほ昨年よりは聯盟内に醫事部を創設し、博士は其の主任として水泳者の心身向上に資すべき多くの研究に對し自らを犠牲として努力されて居たのであるが、其の大綱の樹立すら見ずして去られたのは誠に残念の至りである。今や水泳の季節に際し、例年ならば講習會に競技會に博士の風姿に接すべきに、も早や再び目前に博士を偲ぶ事の出来ないのは吾々一同の全く名残り惜しく、且つ深く悲しむものである。



太田正隆博士近影

醫學博士太田正隆氏 略 歴

明治二十一年十二月十六日牛込區赤城下町四十番地ニ生ル
幼名子太郎先考太田正隆氏ノ嗣トナル
市立牛込區赤城高等小學校、獨逸學協會學校中學等ニ學ブ
明治四十三年七月第一高等學校三部ニ首席ヲ以テ入學ス
少年時代ヨリ水泳ニ親ミ水府流太田派ノ名手トシテ知ラレ第一高等學校ニ入ルヤ毎夏ヲ房州八幡ニ在リシ泳歸寮ニ過シ當時ノ師範末弘博士ノ薰陶ヲ受ケ水泳部助手ノ任ニ在リタリ

大正六年十二月東京帝大醫科大學卒業
大正六年巢鴨精神病院ニ勤務
大正九年一月藥理學教室ニ於テ林春雄博士ノ下ニ神經毒素ニ關スル研究ニ従事ス
大正十一年三月先考正隆氏ヲ襲名
大正十二年十一月三浦内科ニ勤務
臨床方面ノ研究ニ従事其後引續キ島蘭内科ニ勤務ス
大正十三年四月十七日醫學博士ノ學位ヲ授與サル
大正十四年六月赤坂區新町ニ太田醫院ヲ開業
大正十三年水上聯盟役員トナル
平素極メテ健康ニシテ且細心、酒、煙草ヲ喫マズ水泳ノ外各方面ノ運動ニ趣味ヲ有シ殊ニ最近ハゴ

ルフニ多大ノ興味ヲ有チスポーツマントシテ模範的ノ攝生家ナリシガ突然病魔ノ襲フ處トナリ病ムコト十日ニシテ逝ク、近親知友皆愕然タリ、年齢未ダ知命ニ達セス將來ヲ期待セルモノ哀マサルナシ

氏ハ又俳句ヲ好クシ正隆ノ音ヲ採ツテ俳號ヲ青流ト稱シ斯道ノ諸雜誌ニモヨク投稿シ眞摯ナル作句振リヲ以テ斯界ニ聞エテ居タ

次ニ二三青流氏ノ近作ヲ掲グ
遠泳に虹あらはれて消えにけり
春曉やはしけの鶯音ゆるやかに
下り來て蜩蝶なり花空木
田植馬月影うすくもどり來る
(病床にて左の句を絶句として呉れとの話)

春曉のみ空に鶴は鳴きわたる

● 消息欄 ●

移轉通知

此の程松澤一鶴氏は麻布區六本木町三〇(電赤坂1829)に、中村豊氏は荏原區戸越七六に、渡邊延氏は豊島區目白二ノ一五二七に轉居された。

尙ほ評議員の關屋悌藏氏は奉天市滿鐵奉天地方事務所長に轉勤された旨通知があつた。

女子部委員主任湯淺榮子氏は夫君と共に、大阪市西成區梅南通一の二一、御兩親の下に轉居された。

結婚報知

そのかみより名を聞くこと久しかつた日本女子水泳界の元老格江島歌子嬢は去る六月吉日をトして外務省勤務の野崎正勝氏と華燭の典を擧げられた。先日後輩の女子部委員某嬢に「花嫁と言ふものになつたけれども、相變らず元氣です」とのお便りがあつたそうだ。慶應水泳部(飛込)の奥平俊二君は此の三月卒業されると間もなく神戸の正金銀行に就職され、なほ引き續いて吉田俊枝嬢と華燭を擧げられた旨、矢續ぎ早やと三つのお目出度い御挨拶があつた。

就職報知

早大水泳部(前主將)の松本隆重君は此の三月卒業され日本製鐵の入社試験で、「君の長所は？」と尋ねられて「磊落」と應へ「君の短所は？」と聞かれて「呑氣です」と見事に答へて、同君のプレストの様な鮮やかさで就職難の大渦を泳ぎ切り、マニラ歸朝後、八幡製鐵所に勤務された。

同じく此の春帝大農科を卒業され興津園藝場に赴任された三橋達郎君(水球)が先日突然聯盟事務所へ現れた「園藝は如何ですか？」と聞けば「胡瓜や茄子の相手は呑

氣でネ、暇な時には静岡の中學生に水球を仕込んでるますヨ」とのこと、それでも「この雨で胡瓜が心配だ」と急いで歸られた、所が一週間も経たないうちに又現れてニコニコしながら「もうキュウリやトマトと縁を切りましたヨ」と言ふ、右手には農林省の本省務め辭令を持つてゐられた。

軍隊河童消息

兵隊さんになつてもカツパはカツパ、久留米聯隊に入營中の上野克己君、名古屋輜重兵の竹林隆二君、日曜の外出を待かねてプールに馳足をするとのこと。離れて遠い滿洲の新京自動車隊に居る米山弘君と錦州の匪賊討伐に従軍してゐる西海士孚君の二人は水の少ない滿洲をかこつて雑誌水泳が唯一の楽しみで……神宮プールを夢にまで見る」との來信があつた。

巡回コーチ出發

宮城水泳協會(仙臺市プール)へ安永、武村(寅)、秋吉 6月18日夜出發

發 野尻湖游泳協會(長野市營プール)へ、大横田、片山、奥藤、石川 5月19日夜出發。

京城プール開きに選手出場

鶴岡氏監督のもとに坂上、高橋勝久、志村、古莊、片岡、杉本、岡田、根上、北村、生江の諸選手、七月一日京城プール開きのエキジビションゲームに出場すべく 6月27日出發。

昭和九年度競技規定上梓

本年度の水泳競技規程が七月一日上梓し三省堂發賣となつた。大きな改訂の點は水球・飛込の規程記録規程(プール公認規程)、本年度役員及び代議員の移動等である

水泳史文獻の出版

本聯盟の水泳史研究會は創立以來一ケ年をけみし、吾國古來の水泳術の發生發達等に就いて各流派に互る貴重な文獻を蒐集し、着々と研鑽を重ね、此の程水泳史研究に一段落を告げたので右研究成果を出版することになつた。

漫 畫 海 の ス ケ ッ チ 便 り 中 尾 や よ ひ

(1)



とにいやはや、釣れなげりや飛び込んで泳いちゃうはマドモアゼル河童が、釣にお出掛け。

(2)



ニヤリニヤリ向いてこつちをが四ツたいな顔スイカミ

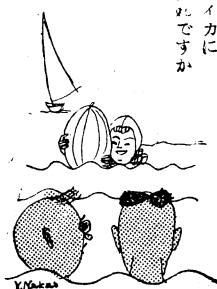
(3)



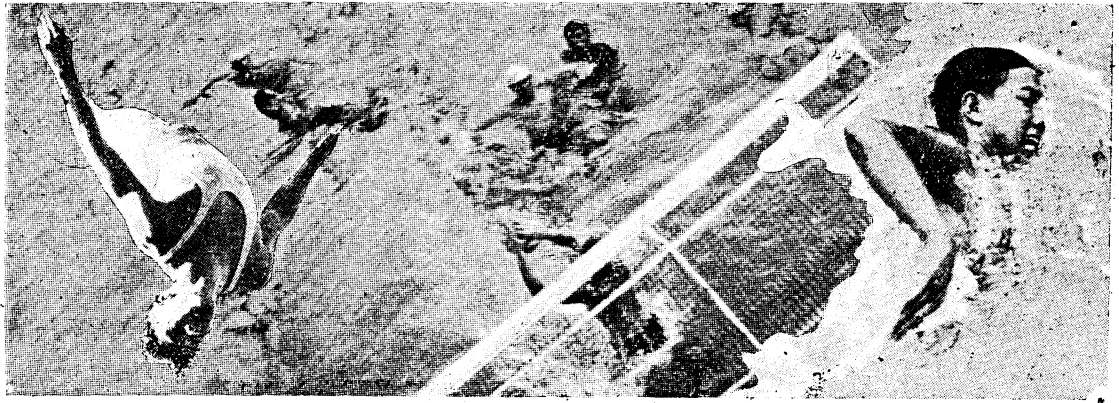
手足が深山あつたら人間にもカニさんみたいにな彼女と言ふことにや

彼氏ムニヤムニヤカニ君にあやかれよでせうにレコードが出る随分スゴイ

(4)



ゐる人はなりたがつてなんかスイカに誰れですか



水球理論の研究 (前承)

第二章 攻撃に於ける動きと送球の原理

時 任 嚴

二 動きの原理

水球に於ける動きの最終の目的は、敵ゴール前にノーマークの味方をつくつて、これに球を持たせ、敵ゴールを陥れるにあり、その方法は

- (一) 合理的且つ強力なる個人の動き、
- (二) 他方牽制の法則、
- (三) 返球の法則、
- (四) スクリーン・プレー

の四方法に別けることが出来る。然して(一)はイ、獨力によりノーマークとなつて他の味方よりパスを受ける場合と、ロ、マークされながらボールを操つて目的を達する場合、及び、ハ、兩者を混ぜた場合に別けることが出来、(二)(三)(四)は所謂コンビネーションに依るもので、味方同志が或る一つの共同意志を持ち、それに従つて長短相助け、相補ひ、相協力して所期の成果を収めようとするものである。尙ほこゝに一言すべきは無計畫に進む内に全くの偶然より降つて湧いた成果は、如何にそれが見事なものであつても進歩せる競技の立場より云ふならば、價值少ないものと云はなければならぬ。我々の最も尊ぶべきは豫め計畫せるものが、充分なる準備を作つて得られた結果であらねばならぬ。その計畫が理論的に正しき根據を持ち、且つ充分なる訓練、練習準備を盡した當然の結果として獲得されたものでなくしては、文化的價値を認めることは出来ない。

又我々は唯強きことのみに満足してはならぬ。我々は水球技のより進歩せんことを希ふ。より力強きを望むと同時に技術的にも巧妙なるを願ふ。然して術の要諦は「柔よく剛を制する」の一言に盡きるのである。こゝに理論の研究、指導法の研究、戦法の研究が必要となる。水球に於ける「動き」は實にこの柔よく剛をも制し得る如きものでなくてはならないのである。

三 攻撃に於ける個人技術

A、個人技術を研究するときに先ず考ふべきこと

個人技術を力あらしめるためには、基礎条件として體質に恵まれてゐることゝ水に強いことを要する。水球に於て體質に恵まれるとは敏活さとウエートを有することであり、水に強いとはスピードと耐水力である。理論上如何に優れた技術も、この二つの基礎条件を無視しては威力を現はし得ないことは明かである。この二条件と旺盛なるスピリットとの上に打立てられてこそ、總べての技術が最大の能力を發揮することを我々は先づ明確に認識する必要があるのである。

尙ほ一言すべきは個人技術と、コンビネーションを主とする所謂連絡技術との關係である。

水球は團體競技であるからコンビネーションを重要視すべきは論を俟たない。然しながら如何なる合

理的なるコンビネーションも、優秀なる個人技術なくしては全く意味をなさないであらう。コンビネーションを無視したる個人技術は水より出でたる魚と云ふべく、個人技術を考へずしてコンビネーションを論ずるは砂上に樓閣を築づくに等しい。この兩者は相關連し、相互に助け合つてこそ眞に威力を發揮し得るのであつて、云はば個人技術を緯とし、コンビネーションを経として紡いでこそ始めて美麗なる布を織なすことが出来ると云ふべきである。故に水球に於ける個人技術は飽までコンビネーションを活かす如きものでなければならず、又コンビネーション・フォーメーションは個人技術の特徴を益々發揮せしむる如きものでなければならぬ。團體競技なる水球を學ばんとするに當つては、以上のことは特に判然と認識する必要がある。

B、攻撃に於ける個人技術の種類

泳 陸上諸競技に於て足の速いことが根本要素である如く、水球に於ても泳を最も必要なる根本的基礎技術として重要視しなければならぬ。理想的プレーヤーとして少くとも50米30秒以内、そして1500米を泳ぎ得る力を持たせたい。水球に於ける泳は主にクロールを用ふるが、成可く體を水面に高く保ち、頭を水上に挙げ、常に前面左右を見つつ泳ぐことが肝要である。

ドリブル ドリブルとは泳ぎながらボールを頭でおして運ぶことで、普通クロールを用ふる。ドリブルは「保持」にならぬ故、タツクルは反則となり従つて甚だ有効な技術である。ドリブルは普通のダッシュと同程度の速力を持つことが必要であり常に頭を挙げて前横を見、前面左右に展開する形勢を判断しつつ行かなければならず、何時にても必要な時には直ちに送球し得るようにならねばならぬ。ドリブルはバスの所に於て述べた諸技術及び競合ひ（後述する）に關連する諸技術と結び付いて、益々その威力を發揮する外、バスする如く見せかけてドリブルし、或ひは逆即ちタツクルされた時にボールを反対側に弾じき、タツクルした敵の逆モーションをとつて、その反対側に出で、ドリブルに移る等の技術と併用すれば甚だ有効である。

フット・ワーク 水球に於ては競技者が成可く體を水上に高く保つことが要求される故、フット・ワークは特に重要視されなければならない。又投球、出足を始め總べての技術はフット・ワークを無視しては圓滑に行はれ得ない。球の遠くへ飛ばぬこ

と、或ひはタツクルに弱きこと、出足の鈍きこと等は總べてフット・ワークに缺點があるのである。然も水中で明瞭に見へざる故、フット・ワークは輕視され勝である。又投球その他の技術をなさんとする際に、その根本をなすフット・ワークを忘れるが故に、體が沈んで技術が圓滑に行かない場合が多い。フット・ワークは意識し爲さんと努めてする内は、未だ未熟と云ふべきであつて、如何なる時も無意識の内に反射的に足が強く動いてしまふの境地に至つて、始めてマスターしたと云ひ得るのである。そして一應マスターした後も常に意識して益々フット・ワークを有効にする如く心掛けなければならないのである。

出足 鋭い出足はスタートの第一歩にスピードを持つことであり、ヘッド・スピードを有することである。水球に於ては試合開始時とバックのドリブル以外10米以上の距離を眞直に續けて泳ぐことは少ない。それ故出足の鋭い選手は多少泳そのもののスピードに不足してゐても、立派に競技出来るのであつて、鋭い出足で先に出られては、5、6米の間に回復することは如何に泳の速い者にも不可能である。故に結局出足の鋭い競技者は泳が速い如き觀を呈してしまふのである。出足の根本をなすものはフット・ワークである。然して總べての技術は體を鋭く動かすことを要する故、フット・ワーク、鋭い出足を無視しては總べての技術は考へられないとさへ云ひ得るのである。

チェンヂ・オブ・ペース 攻撃するに當つて常に最大スピードを以て泳ぎまわるは必ずしも譽めるべきでない。常に全速力即ち同じ速さにて動きまわつては、防禦側は次に起るべき攻撃のスピードを豫め悟ることを得て、それに對して最少の勞力を以て相對することが出来る。防禦側が眞に恐怖を感じずは次に來るべき攻撃が如何なるスピードを以て展開するかを豫知出来ない時であろう。故に攻撃側はスピードを常に變化せしむること即ちチェンヂ・オブ・ペースによつて技術のバリエエティを増し、眞の威力を發揮することが出来る。或ひは止り、或ひはゆつくり泳ぎ、こゝぞと云ふ時に突然全速力で突進するとき、防禦側はスピードの突然の變化に對應することに失敗し、それらの攻撃技術は最大の威力を發揮するのである。チェンヂ・オブ・ペースは精力の浪費を防ぎ、然も同じ技術を以て數倍の威力を現はし得ると云ふ、攻撃側にとつては甚だ好都合なる技術であるが、然も了解には易しくして行ふに困難なる高等技術である

ことに注意しなければならぬ。

競合 相互にマークし合ふ敵味方の二名が、近くに來たボールを自己支配にするために争ふことを競合と云ふ。これは自己支配のボールを敵に壓迫されつゝも味方の最も欲する所に、そして最も適當な時に、送球すること及び奪球の技術と結合して最も重要な技術である。何となれば飛び來つた球を競合つて自己の支配にし、或ひは敵の支配するボールを奪つて味方の最も好都合な時に最も好都合な所に送球することは、水球に於ける攻防の根本義であるからである。競合に最も重要なものはフットワーク、出足である。同じ状態よりボールを争ふ際には、ボールに達するや出来るだけ手を延ばしてこれを自己に有利な側に弾じき、廻轉(後述する)氣味に敵が左より來る時は右下、右より迫る時には、左下の片拔手(水府流)を用ひ上手で抜いた後にボールを運びつゝ敵の反對側にボールをかばふ如くまわる。斯くして直ちにパスすることも出来、ドリブル氣味に敵から逃げつゝ必要な時にパスすることも出来るのである。この際空いてゐる手或ひは足で敵のタツクルを支へつゝパスする技術、仰臥投げも必要であり且つ有要である。競合の際注意すべきは、ボールを自己の側に弾く際餘り大きく弾かざることである。大きく弾じき過ぎてはマークする敵に取られなくても他の敵に取られ勝である。故に理想的には手で掬ふ氣持で寧ろ運ぶ位のつもりの方が良い。競合の際不幸にして敵にボールを支配せられる時は飽まで追求し、敵を壓迫して左右より攻め、敵がボールを保持した時は直ちにタツクルしてこれを奪ひ、或ひは機を見て突然敵の肩の上より手をのばしてボールを弾じき奪ふことも出来るが、餘り強氣に出過ぎることは反則を伴つて不利であり、逆をとられたりする危険もある故、原則としては敵を壓迫しつゝ、ボールを保持するのを待つてタツクルするのが最も適當である。

廻轉 廻轉はボールを支配した際に、前或ひは後から迫る敵を避けて、送球する際に用ふる技術であり、非常に重要である。廻轉は成可く體を水平に保つがよく、迫る敵の反對側に足を中心に體をまわし、敵を完全に足の方にまわすのである。斯くしてタツクルせんとする敵を足又は空いた手で支へ、普通仰臥投げにてよく狙つて送球することが出来る。廻る際に體を水平に保つは、タツクルを足にて支へるに便利な故である。體を直立せしめたまゝ廻つては足にて支へることが出来ず、從

つてタツクルされやすい缺點がある。

逆 タツクルされた時にボールを反對側に弾じき、タツクルした敵の逆モーションをとつてその反對側に出る技術であり、斯くしてドリブルすればリターン・パスと同じ効果があり、その後抜いた相手にタツクルを躊躇する氣持をいだかせ、その結果、敵のタツクルは鈍ぶくなつてよく狙つたパスが可能となるであらう。逆をとらんとする時は敵をボールで自己の反對側に釣り、續いてボールを敵の反對側に弾く(寧ろ手で運ぶ氣持である)と同時に横に敵のタツクルを避けつゝ敵の反對側に出る時は、敵のタツクルを全然はずすことが出来て樂にダツシュすることが出来、然も勢込んで飛び付いた敵は、水の中に飛び込んだような結果となつて直ちに引返へして來ることが出来ず、逆の効果も最大ならしめることが出来る。然してボールを弾じく際に餘り大きくせざるべきは競合の所に於て述べた通りである。逆を鋭く行ふにはフットワークと腹の力が最も重要なことは留意する必要がある。

キャッチ 投球の前提として先ずキャッチを會得しなくてはならない。好きキャッチは好パスの前提であり悪パスは悪キャッチの結果である。キャッチは空中にて直接受けるものと、水上に浮ぶボールを掬ふものとあり、場合によつては空中に飛來するものを一度水上に落して掬ひ上げるものもある。

パス パスはループ・パスでなければならぬ。投球の方法からこれを別ければエレクト・スロー、スキング・スロー、バック・スローがあり、この外にフリップ、タツプがある。然しながらスキング・スロー、バック・スローは原則としては推奨出来ない。送球法は又これを體勢より類別すれば直立投、伏臥投、仰臥投に別かれ、この何れにも熟達しなければならぬ。直立投は止つて直立してゐる時に球を得或ひはノーマークで餘裕のある時に用ふべきで、最も正確で遠距離に送球出来る特徴があり、伏臥投は突進してボールに達し、或ひはトリブルしてゐる時に直ちに送球する必要がある時に用ひ 仰臥投は敵と争つてゐる時に敵を避けて送球せんとする際に用ふべきで、空いた手或ひは足で敵のタツクルを支へつゝ投球出来る如きでなければならぬ。

シュート エレクト・シュート、スキング・シュート、バック・シュート、フリップ・シュート、リレー・シュート等がある。エレクト・シュートはエレクト

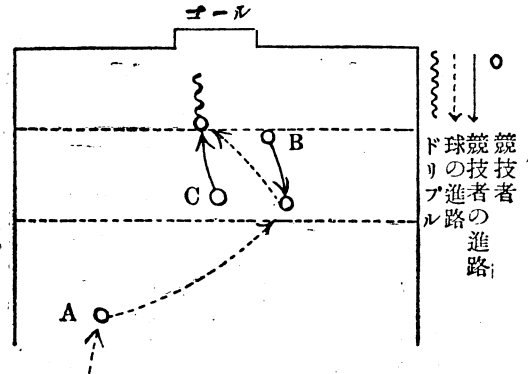
ト・スローを用ひ、下隅を衝く強残なもの（スピード・シュート）と上隅を狙ふ高いループのついた緩シュート（ループ・シュート）とを同じモーションより出し得なければならぬ。キーパーはこの兩者を同時に豫期して完全に守ることは不可能である故、この兩者を適當に混用すれば、そのみにても相當な効果を擧げることが出来る。スピング・シュートは強球を出し易い長所があるが、後に引く所を追ひ掛ける敵に引懸けられ易く、モーションが大きく、キーパーに狙つた所を豫期され易く、又フェイントに困難である故餘り推稱し難い。バック・シュートも感で投するものである限り ball position の強調される現今に於ては當然排斥されるべきであり、又その傾向にある。フリップ・シュートは極くゴールに近い際に水上にあるボールを掬ふように弾いてゴールを狙ふのであり、リレー・シュートは飛んで來た球を空中にて手先で叩き、スピードを付け、球道を變へてゴールを陥れようとするのであり、共にゴール近くから行ふ時は非常な威力を發揮する。そしてこの二つのシュートは、たとへそれがその時失敗に終つても、敵を恐怖せしめ、牽制することによつて、それから後の他の技術を容易にする點で特に重要である。尙ほ仰臥投にてシュートする際は球は浮び上り勝ちである故、直立投、伏臥投にてするシュートとは區別して練習しなくてはならない。

フェイント シュートはフェイントの併用によつて益々その威力を増大する。即ちシュートの時、途中でそのモーションを中止し、キーパーが飛び上つて落ちたそのすきにボールを放り込むのであり中止するまでのモーションがフェイントである。キーパーの上達するに連れて、單純なるシュートのみにてはゴールを陥れることは困難となるがフェイントにてキーパーを釣れば手易く得點することが出来るのであり、又キーパーがフェイントを豫想したときにその裏を搔いて案外單純なシュートで簡単に放り込むことが出来るのである。

四 他方牽制の法則

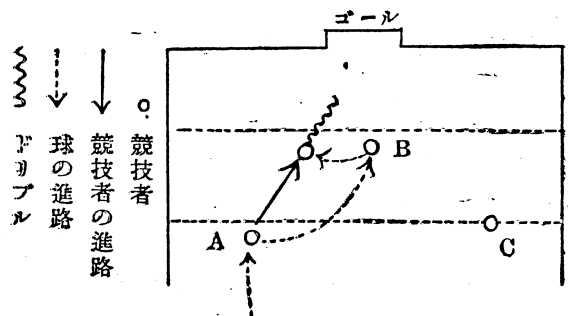
圖の如く A がパスせんとするときに B が矢の方向に動いて A よりボールを受け、C は矢の如く B と反對の方向に鋭く動くときは、C はノーマークとなつて B よりボールを受ける可能性が多い。即ち C のマークが B の動きとそこへ來たボールに氣を引かれたその心理的間隙に C が付け込まんとするものであつて、従つて A より B へのパスは C をマークする敵の

氣持を引く如き場所に落すのが最も良いのである。この際最も重要なものは A のパス、BC のそれに策應するタイミング、をして C の鋭い出足である。この動きはフォーメーションの根本をなすものであつて幼稚な時代はこの動きのみにても攻撃効果を擧げることが出来る。然してこゝに掲げた圖はその最も代表的なものに過ぎないのであつて、フォワード同志、或ひはバックマンとフォワード、又はバックマン同志でもこの動きによつて敵を抜くことが出来るのである。



五 返球の法則

所謂リターン、パスである。リターンパスはラグビー・サッカー・ホッケー・バスケット・ボール等多くの團體球競技に於て高等技術の一つとして珍重されてゐるものであつて、總ての競技はリターン・パスの採用によつて全然戦法を一變せしめ格段の進歩を遂げてゐるのである。圖の如く A がボールを得た際に敵の將にタックルせんとするときに B にパスし直ちに矢の如く突進するならばノーマークとなつて B よりパスを受ける可能性が多い。何となれば A をマークする敵はタックルのモーションを起した時にその逆モーションをとられる故に抜かれ勝ちであり又一方 A が B にパスしたため幾分ほつとして緊張のゆるんだその心理的間隙を、突然反對側にダツシュされるのであるから、直ちに追求し、マークし續けて行くことは甚だ困難なのである。リターン・パスも前述の他方牽制の場合と同じくフォワード同志フォワードとバック、或ひはバック同志の間に於ても種々の形に於て行ひ得るのである。



標準泳法問答

NSR 標準泳法委員

原 正 一

問 日本水上競技聯盟や其他の人々より標準泳法といふ言葉を時々聞きますが、標準泳法といふ何か今迄にない全然違つた泳法でもあるのですか。

答 さういふ質問に時々接しますが、日本水上競技聯盟で著した水泳指導要項に掲げてある、クロール、背泳、平泳の外に伸泳、片拔手、扇平泳、拔手、立泳、縦潛り、平潛り、蹴潛り、浮身、立飛、逆飛を指すので、要するに世界の水泳界で覇權を獲得する爲め直接必要なクロール、背泳、平泳に加ふるに古來の我國の泳法中より典型的のもので是非共知らなければならぬと認めた泳法數種と基本の潛り、浮身と飛込數種を加へたもので、全然今迄にない異なつた新規の泳法ではない。

問 我國古來の泳法中より典型的なものを採つたといふことですが、各流派の泳法中より其の代表的なものを探つたのですか、又扇足を使ふ泳法が多いやうですが。

答 我國の各流派の泳法を保存する目的ではなく水泳の健全な發達を期するのが目的で苟も水泳を學ぶ者は少くとも一通りは日本古來の泳法の中で之れ丈は知らなければならぬといふ意味に於ける典型的なものといふことで、各流派から代表的なもの一つ選んだ譯ではない、又各流派の泳法を保存することは必要に相違ないが標準泳法を決めた目的ではない。泳法の動的の美即ち伸とかスピードとかをも斟酌したので勢ひ扇足の泳ぎが多くなつたのだ。日進月歩の今日であるから標準泳法の内容が將來變化することあるは避け得ざることである。

問 クロール、背泳、平泳の如き泳ぎと其の他の標準泳法とは兩立し得るものでせうか。

答 大體兩立し得るものと思ふ。但しクロールと平泳、扇足を使用する泳法と蛙足を使用する泳法例へば平泳と伸泳、片拔手、扇平泳、及び拔手等は或程度迄進歩すれば夫れから先は當然一方的になるべきもので兩方の名人になることは難しい。

問 泳法を學ぶは最初より泳法を一種に決めてかゝることは如何でせう。

答 假令夫れが競泳の選手となる目的であるとしても、泳ぎといふものゝ研究を狭め却つて専門の泳ぎ

の研究の基礎的知識を充分得ることが出來ず目的を完全に達成することに困難とならう。現在のやうにクロールが輸入されて研究され工風されて立派な日本のクロールの出來たのは、日本に於ける古來の泳法の發達が興つて力あるものと言へやう。

問 夫れは何ういふ譯ですか。

答 日本古來の泳法は最近或種の人々から一にも二にも形に捉はれて居つたとか、餘りに難しい約束に縛られ居つたとか批難される、又事實さういふ泳法も中にはあつたし、さういふ泳ぎ方を好んでする人もあつた。夫れ等は理解ある人々からは末技に拘泥して居るものと言はれるが、日本古來の泳法には一舉手一投足に八ヶ間敷神氣的な氣難しい點がある程、研究されて居るのである。日本古來の泳法は各地の水勢、水質に依り各種の水に適合するやうに獨特の發達を遂げ各流派を生づるに至つたもので手足の動作が各流派に依り皆違ふ。従つて日本古來の泳法で相當の域に達した人で、クロール或は平泳或は背泳を研究した人はクロール、平泳、背泳に就て單にクロール、平泳、背泳のみを研究した外人の指導者よりは一層細心で痒い處へ手が届くやうに氣が付きより良い競泳の指導者になり得るやうに思はれる。夫れは現在のクロール等を完成するに至つた指導者は此の種の指導者か若しくは此の種の指導者に依つて育てられた泳ぎ夫のものに就いてて繊細な觀察眼と意見とを持つてる者であつて、決して外人のやうにクロールや平泳や背泳丈けで叩き上げた一本調子のものでないことに徴して見ても明かである。何といふても競泳に於いて日本が世界的になつたことは各地の湖沼河川海で獨特な發達を遂げた非常に八ヶ間敷氣難しい、泳ぎ夫のものゝ心持迄も云々する日本古來の泳法が興つて力あると信ずる。

問 標準泳法中で一番難しい泳ぎは何ですか。

答 僕は伸泳ぎだと思ふ。

問 伸泳より拔手の方が難しくはありませんか。

答 人によつて異見もあらうが定説として又實際伸泳ぎの方が遙に難しい。伸泳は地味で拔手は派手だ伸泳は這入り易く達し難い。拔手は這入り難く達し易い。伸泳の巧拙を繊細な點迄鑑別し得る人は日本

古來の泳法の大家と言へやう。大會で伸泳を泳ぐ奴は貧乏籤だ。拔手は觀衆に受けるが伸泳には觀衆は中々拍手しない。

問 何故伸泳はそんなに難しいのですか。

反問 浮身の中で何が難しいかね。

答 仰臥、俯臥、直立共に出來ますが、横臥即ち横浮丈けは中々出來ません。

答 其處だよ、横臥して浮くことが難しければ横臥して手足を動かし、手足を動かした後で其のまま浮いて伸をとり進行することは一層難しいといふことになる。

問 伸泳で下方の手を搔くと上下動をしますがいけませんか。

答 上下動をしてよいとは言へないが、練習の足らぬ間は上下動する方が手を弱く搔いて上下動しない泳ぎ方をするより遙に有望だ。最初から上下動を避けるために手を弱く搔いては何時迄たつても伸泳は完成しない。上下動するのは足が弱いためか、足と手の調子がかぬためだ。數かけると自然に會得する。昔學生時代に斯ういふ歌が流行つた。僕等の水泳部では級を六分し六級生は鐵槌、五級生は伸と平が出來て遠泳四町、四級生は同じく二十町、三級生は拔手が加はつて同じく一里、其處で三級生位迄は上下動がある「三級生が沖の方にて一重伸すれば（伸泳に相當する泳ぎ）白帆見えたり穩れたり……」といふ歌があつた。グングン泳ぐと直る。

問 下方の手は横へ搔くやうに他所で教はりましたがいけませんか。

答 感心しません。神傳流といふ流派の二段伸といふ泳ぎでは横へ搔く。横へ搔けば體が前方へ曲るのが自然だ。夫れを曲らないやうに泳がなければいけない、練習次第で曲らないやうに泳げる、夫れが是の泳ぎ(二段伸)の技としての誇りだ。標準泳法の伸泳は是を採つたのではない、可成進行方向に水面と並行位に伸して後下方に搔くのが伸のためにも速力のためにも自然で合理的である。

問 伸泳で下方の手を搔いた伸と最初の扇足の伸と段がついてもよいのですか。

答 段がついてはいけない。

問 それなら伸の長さの問題でなく速さの問題で結局速力が增加すれば伸は延長されなくてもよいのですか。

答 段がついてはいけないといふことから直ぐさういふ結論は出ない筈だ。伸泳の扇足に因る伸と下方の手を搔きに因る伸とは速力が増す問題といふより明かに伸が延長する問題だ。扇足に因る伸を一枚の

紙とし、下方の手を搔きに因る伸を他の一枚の紙とすれば、二枚の紙は重なるのでなくして障子貼のやうに眼につかぬやうに僅な所でついで二枚の長さの紙にするのだ。扇足に因る伸と、下方の手を搔きに因る伸とに段をつけないやうにし而も二つの伸を接合するやうにすべきだ。初めは難しいが一度調子を會得すれば其の後は特に意を用ゐずして自然にさうなる。質問のやうにすれば勢ひ水府流の諸手伸といふ泳法のやうになる。

問 下方の手は腕全體に力を入れて水を搔くのですか。

答 違ふ。掌で水を引掛けて外股に收める丈けで腕全體で水を搔くのではない。指導を受くる者の程度に依つて説明を異にすべきだが、相當巧く泳げる人に對しては、腕の力を抜かざる程度にして水面と並行に進行方向に伸して掌にて水を心持引掛けるやうにして搔くといふ方が適當だらう。

問 伸泳で進行が腹側へ曲り又は背側に曲るのは何ういふ譯ですか。

答 十中八九は上下の脚の扇足の比較的の強さの問題である。下方の脚が弱ければ背側へ、上方の脚が弱ければ腹側へ曲る。開の少い方が大體弱くなる。又扇足の最初の動作として兩脚を縮める際に遅れた脚は自然開き方が不足し弱くなるものと思ふて大體間違ない。

問 扇足は何の邊で力を入れるのですか。

答 兩脚を揃へて伸して居る間は勿論、兩脚を揃へて縮めるときにも力は這入らない。兩脚を七分通り開いた頃から非常な速さと非常な力が加はり、充分兩脚を開いてから兩脚を伸し、揃へる迄の動作中其の後半はあまり力が這入らない。

問 よく「スクリューモーション」といふ事を申ますが最初から稽古する必要がありますか。

答 最初はやらぬ方がよいだらう。やるなら脚癖の出來ぬやう注意が肝要だ。

問 其の脚癖といふのはどんなことですか。

答 ボートを漕ぐときに櫂の先を水に入れて心持水を搔き上げるやうにするだらう。あれがスクリューモーションさ。是の動作を大にするためには櫂を深く水に入れなければならない、扇足のときには是の動作を大にするためには脚を開いたときに足を一旦深く沈めなければならない。沈めるためには其の準備として一旦股間を開くと樂に出来る。處が股間を開くと腹側と背側への開きが小さくなり易いのは當然だ。是れが「スクリューモーション」を試みることでより陥り易い脚癖で此の程度の扇足の効果は知れた

ものである。要するに僕の理想としては腹側と背側に脚を充分開き且つ股間を可成開かぬやうにして兩足を落して足先を效かせて下から扇り上げるやうにすることである。「スクリーモーション」の爲めに陥り易い腹側と背側への兩脚の開を小さくすることと股間を開くことは可成避けるやうにしたい。

問 前方に出した手の搔きと扇り足とは同時ですか

答 伸泳では當然手の方が遅れる。下方の手の搔きで扇足の伸を段のつかぬやうに延長するのだから勿論遅れる。前方に伸びた手は兩脚を伸し揃へた頃から搔き出す形になる。勿論下方の手を伸して一旦止めて搔き出すのでないことは明かである。又腹側と背側に脚を充分開くことの出来ぬ者は未だ是の點迄考へる資格はない。

問 伸泳の上方の手の搔き方は體に接する位にして後下方に搔いてよいでせうか。

答 體に接する位に搔くより腕を少し伸して水面と外側へ四十五度位の面を後方に搔いた方がよいと思ふ又實際其の方が效き目があると思ふ。體に接する位にして後下方に搔く人の内股に収めた後の肩の形を見ると、何うしてもぎごちない形になり易い。又伸泳に似た神傳流の眞といふ泳では上方の手を伸して餘り大きく搔き過ぎると思ふ。此等は形の上ばかりでなく搔手の効果から見ても感心しない。

問 伸泳の兩脚が充分開いて居るとき下肩と頸との中間にある兩方の掌は各向き合ふやうに合せて差支ありませんか。

答 いけない。十人泳がせると九人迄は拜むやうに掌を合せるが、夫れは間違で、下方の手を伸すときに掌を下にして伸すことから考へても、寧ろ掌を下方に向ける位にすべきだ。さうしないと掌を一度反へして伸すことになり、頗る不合理で形も變挺だ。掌を合せることは大きな間違だ。掌を合せる人は泳がせなくとも陸上で伸泳の動作をすれば直ぐ判る随つて陸上の練習で充分直すことが出来る。

問 伸泳の中で下方の手を淺く伸し脚を縮める頃軽く一度外股に収めることなく、途中より下肩に運び次の動作に移る泳で、下方の手は肩先から直ぐ淺く水面近く伸すのですか。

答 直ぐ肩先から淺く水面近く伸すと水を壓す氣味になり此の泳の本來の伸も速力も充分出なくなる。初から淺く伸さず手の伸びた頃に水面近く淺くなるやうにすると充分浮もとれ伸も出るやうになる。勿論形の上から見ても其の方がよい。

問 拔手は單に人に觀せる泳ぎ方のやうに思はれますが如何でせう、餘り價値がないやうに思われます

が。

答 冗談じゃない。拔手は右脚を扇るときに右手を搔き、左脚を扇るときに左手を搔くといふ風に手脚を揃へて左右交互にやる體育上より見ても洵によい泳ぎで、以前は流を渉るにも使用されたものだ。古來の日本泳法中の典型的なものと考へる。拔手で想ひ出したが今を去る二十四五年前神傳流の教導生の候補者を連れて或る教場へ教導生にするために行つたことがある。其所の先輩の曰はく右手を搔くときに左脚の扇りをなし、左手を搔くとき右脚の扇りをなすべきで手脚の動作は左右反對になるべきである君等のやるのは間違ると言はれたことを記憶して居る。但しさう言ひ乍らさういふ人達も右手を搔くときに右扇、左手を搔くときに左扇りをする、さうかと思ふと是れと反對な動作をして觀せ夫れが眞實の神傳流の拔手だといふ。案ずるに成程神傳流は肩の搖れるのを嫌ふ結果斯ういふ説を吐く者も出るのだわいと思つて當時は苦笑したものだ。今でも眞面目になつて拔手の手脚の動作は以上のやうに反對でなければならぬと説く人が或はあるかも知れないから一言して置くが如何に肩の搖れるのを嫌つたからとて拔手で手脚の動作を逆にする必要はなからう。其の結果は肩は搖れない迄も進行を阻止することになり伸の出やう筈がない。肩を搖れなくするために伸を犠牲に供したものである。又拔手で腰をひねらないで體を立てる位にして扇足をして手丈け美しく抜くものもある是れは手の爲めに大切な伸を犠牲に供したものである。神傳流の拔手にした所で腰をひねり扇足を充分使つて而も伸を出して手を美しく抜く所に味があり生命があるので、今述べたやうなのは眞實に末節末技に拘泥したと言ふべきか洵に不合理極まるものであると思ふ。此の種の説や技に惑わされたものとすれば御質問も一應は御尤である。

問 拔手とクロールは兩立するでせうか。

答 拔手が上手になつてからクロールに轉向しても中々拔手の癖が直らないが、適當の時機に兩方を學べば兩方巧くなり得ると思ふ。

問 拔手の手の動作とクロールの手の動作とは大變違ひますか。

答 拔手は抜いた手を水面を平に持つて來て眼前に入れて、前方から外側にかけて水を押へるやう水に乗るやうにする。クロールは手を肩幅より内側には入れない。拔手では手を水に入れて「て」字形に水を押さゝて搔くがクロールでは人差指の邊から突込むと同時に其のまゝ手は肩の進行鉛直面を通る様にして、水を後方に壓す氣味で搔き抜き、抜いた手も

拔手のやうに水面と並行には持つて來ない。拔手では水を「て」の字形に押さゑて掻き抜く結果抜く直前に一寸力の抜けた手先に抜くとき心持力と調子がついてピシピシと水を切る音がある。

問 片拔手で抜いた手を眼尻の邊から水中に入れるときに上體を俯臥氣味にしても差支ありませんか。

答 片拔手といふ泳としては最初決めた形を崩さずに泳ぐべきである。

問 片拔手の上方の手は水を掻き抜くときに手先で水を切るのですか。

答 手先で水を切つてはいけない。充分掻いて寧ろ無造作に伸びたときに抜けばよい。手先で水を切ると速力にも伸にも影響するし氣障な泳になる。

問 抜いた掌は水面と平にするのですか。

答 其の必要はない。自然のまゝの形がよい。強いて平にしやうとすると前と同じことになる。

問 手を水に入れるとき腕を上げて差支ありませんか。

答 腕を上げると手を水に入れるときに上體を沈めることになり俯せることになり百害あつて何の益もない。

問 下方の手は水を掻き終る度毎に一々外股に着けるのですか、又實際つきますか。

答 沈んでも一寸着けるやうにしなければいけない。着ける位にしないと伸も充分出ず技も小さくなる。

問 競泳泳法ともいふべきクロール、平泳、背泳ではよく形と速力といふことを申しまずが夫れ以外の標準泳法にも之の點は必要でせうか、技術判定とか言ひますから形さへよければ充分ですか。

答 馬鹿を言ふてはいかん、其の泳法の本來の伸を充分出し、速力があつて、調子よく泳いで且つ形の良いものが眞の泳の巧なもので靜的の形ばかりが良

くても動作となれば醜いものであつてはならぬ。近頃のクロール、平泳、背泳以外の標準泳法を練習する人々の多くは相當の距離を繼續して泳がないから眞の伸、速力、調子が出ての上の形の完成を見ることがないやうだ洵に遺憾である。拔手を難しい等とよく言ふが吾人の中學時代には三里の遠泳をして來て水泳場近く六七町の所へ來ると水泳場迄拔手雁行をやつたものだ競泳のみならず何んな泳でも相當の距離を繼續して泳ぐことを練習する必要がある。

問 相當巧くなつたら時々靜な水で考へながら研究しながら泳ぐ必要はないでせうか。

答 出來れば毎回の練習のときに終りの直前の泳はさうしたいものである。僕は之れを泳の整調と稱へて居る。

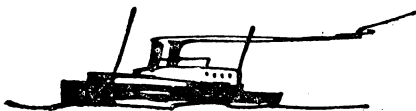
野球では投げた球が相手方に相當の時間内に到達したときに初めて動作の妥當性を感じる而し泳が相當巧くなると身體全體に感ずる水の動で動作の妥當性を直感する。

泳ぐこと自體が目的となり道を樂むことになる。

俗界では無理が效く。水泳の世界では無理が效かない。是れが水泳が有する明朗性と直き正しき心持であり泳ぐ者の享け得る美しき御利益である。

人は各自異別なものである。各自異別なものであつて而も自他を包容する點に於いて同様のものである。人の仕事は全然同様な機械の仕事と異なる。機械の仕事は量の問題である。人の仕事は實に質の問題である。教ゆる者があれば幸甚である。

理論を辿つて結論が生れる。人には豫め決めた結論に到達するために不知不識無理な理論を辿ることがある。だから異説異論に對しては千顧と萬慮とを吝まない。 終



コーチャツク叱らる

前のオリムピックに出場旅費までもらい驛まで來てドロンをきめたと云ふザヨージ・コーチャツク、はAAUより叱責謹慎中であつたが、その後も例の調子で相變らず、AAU登録委員を手こずらしてゐたが、此の度許可なくして、やたらカーニバルに出場した事と、無許可で他の地方の競技會に出場したとのかどで、AAUの登録歸復を剝奪されたとの事である。

カルトンネりきむ

佛蘭西のカルトンネは自己の持つてゐた200米平泳2:42.6の世界記録を先般日本の小池禮三に2:39.1で破られたので、日本の空を睨んで『ヨシ、今に見ろ小池の記録をきつと破つて見せる』と息捲いてゐるそうであるが、カル氏は目下専らクロールに専心してゐて、平泳の練習は十月に入つてからやると呑氣なことを言つてゐる位だから別に驚ろくにもあたるまい。

本年度上半期

水泳世界十傑

七月一日現在

飯田光太郎編

順位 時間 氏名 國 場所 水路

順位 時間 氏名 國 場所 水路

男子 50 米自由形

(○印碼)

	(26.0)	高橋 成夫	日	甲子園	25m
	(26.2)	竹村 公良	日	甲子園	25m
1.	26.4	高橋 成夫	日	神戸	50m
2.	26.4	Ali	比	Manila	50m
	(26.4)	遊佐 正憲	日	甲子園	50m
3.極東記	26.6	竹村 公良	日	Manila	50m
	(26.6)	梅田利兵衛	日	甲子園	25m
	(26.8)	阪上安太郎	日	甲子園	25m
4.	27.2	志村 義久	日	神戸	50m
	(27.3)	豊田 久吉	日	甲子園	25m
5.	27.4	豊田 久吉	日	Manila	50m
6.	27.4	井上 茂	日	玉川	50m
7.	27.4	高尾 龍實	日	屏東(臺灣)	50m
8.	27.4	Angel Sobota	西	Barcelona	25m
9.	27.4	田口 正治	日	甲子園	25m
10.	27.6	大野(臺北高師)	日	臺北	50m

男子 100 碼自由形

	(50.0)	Walter Spence	加	New Brunswick	25y
1.世記	50.6	Peter Fick(19年)	米	New York	25y
2.	51.1	Walter Spence	加	Columbus	25y
	(52.1)	Mathew Chrostowski(17年)	米	Olneyville	20y
3.	52.6	David Livingston	米	New Brunswick	25y
4.	52.6	Art Lindgreen	米	San Francisco	25y
5.	53.2	Wallace Spence	加	New York	25y
6.	53.4	Walter Medville	米	Brooklyn	25y
7.	53.5	Highland	米	Columbus	25y
	(53.6)	Charles Flachman	米	Columbus	20y
8.	53.8	Mathew Chrostowski(17年)	米	New England	25y
9.	53.9	James Reilly jr	米	New Brunswick	25y

	(53.6)	Albert Vande Weghe(17年)	米	Paterson	20y
10.	54.1	Le nard Spence	英	Columbus	25y

男子 100 米自由形

1.世記	0:56.8	Peter Fick(19年)	米	New Haven	25m
	(0:58.0)	遊佐 正憲	日	甲子園室内	25m
2.瑞記	0:59.0	Soen Pettersson	瑞	Aarhus	25m
	(0:59.0)	阪上安太郎	日	甲子園室内	25m
	(0:59.0)	高橋 成夫	日	甲子園室内	25m
職業	(0:59.0)	Arne Borg	瑞	—	—
3.獨記	0:59.1	Helmuth Fischer	獨	Magdeburg	25m
	(0:59.6)	豊田 久吉	日	甲子園室内	25m
4.極東記	0:59.8	遊佐 正憲	日	Manila	50m
5.	1:00.2	阪上安太郎	日	神宮	50m
6.	1:00.2	豊田 久吉	日	振甫	50m
7.	1:00.2	Jikirum Adialudin	比	Manila	50m
8.	1:00.2	Audras szekely	洪	Pars	50m
9.	1:00.4	志村 義久	日	神宮	50m
	(1:00.4)	Herm Heibel	獨	Neuwied	20m
	(1:00.5)	Heiks Schwartz	獨	Köln	20m
	1:00.8	田口 正治	日	甲子園室内	25m
	(1:00.8)	Schwankowski	波	Warsaw	20m

男子 200 米自由形

(○印220碼)

	(2:10.4)	新聞 六炳	日	甲子園室内	25m
○1.	2:11.6	Walter Spence	加	Columbus	25y
○2.	2:12.4	David Livingston	米	New Haven	25y
3.	2:13.0	新聞 六炳	日	甲子園室内	25m
○4.	2:13.2	Jack Medica	米	Columbus	25y
	(2:13.4)	片岡寅次郎	日	甲子園室内	25m
職業	(2:14.0)	Arne Borg	瑞	—	—
	(2:14.0)	阪上安太郎	日	甲子園室内	25m
	(2:14.2)	遊佐 正憲	日	甲子園室内	25m
5.	2:14.4	片岡寅次郎	日	甲子園室内	25m

順位 時間 氏名 國 場所 水路

	(2:15.0)	豐田久吉	日	甲子園室內	25m
6.	2:15.8	根上博	日	寶塚	50m
7.	2:15.8	大横田勉	日	甲子園室內	25m
8.	2:17.0	Jean Taris	佛	Paris	50m
◦9.	2:17.0	John Macionis	米	———	25y
10.	2:18.0	Leukitsch	獨	Ohligs	25m
◦	2:18.0	James Gilhula	米	Los Angeles	25y

男子 400 米自由形

◦1.	世記 4:43.2	Jack Medica	米	Chicago	25y
	職業(4:44.0)	Arne Borg	瑞	———	———
	(4:45.8)	横山隆志	日	甲子園室內	25m
	(4:46.2)	石原田愿	日	甲子園室內	25m
	(4:49.6)	新聞六炳	日	甲子園室內	25m
	(4:50.0)	牧野正藏	日	甲子園室內	25m
2.	4:52.2	新聞六炳	日	甲子園室內	25m
	極東記 4:52.7	新聞六炳	日	Manila	50m
3.	4:53.8	石原田愿	日	甲子園室內	25m
	(4:54.0)	片岡寅次郎	日	甲子園室內	25m
4.	4:54.6	根上博	日	神宮	50m
5.	4:54.8	片岡寅次郎	日	甲子園室內	25m
◦6.	4:55.6	James Cristy	米	Chicago	25y
7.	4:56.6	牧野正藏	日	神戶	50m
◦8.	4:58.4	John Macionis	米	Princeton	25y
	(5:00.4)	杉本盛	日	甲子園室內	25m
9.	5:00.6	永見達明	日	神戶	50m
10.	5:00.9	横山隆志	日	Manila	50m

男子 800 米自由形

(○印880碼)

	(9:49.8)	牧野正藏	日	甲子園	25m
	(9:51.8)	北村久壽雄	日	甲子園	25m
	(9:53.8)	本田惣一郎	日	甲子園	25m
◦	(9:56.4)	Jack Medica	米	Chicago	25y
	(10:16.0)	石原田愿	日	甲子園	25m
1.	(10:18.8)	牧野正藏	日	神戶	50m
2.	10:25:0	根上博	日	神宮	50m
3.	10:28.4	永見達明	日	神戶	50m
4.	10:29.6	本田惣一郎	日	寶塚	50m
◦5.	10:31.8	Noel Ryan	濠	Sydney	55y
6.	10:40.8	市村敬吾	日	神宮	50m
7.	10:53.6	杉本盛	日	振甫	50m
8.	10:56.8	森原幸彦	日	神宮	50m
9.	11:22.6	澁谷春雄	日	神宮	50m
10.	11:24.2	片岡寅次郎	日	神戶	50m

順位 時間 氏名 國 場所 水路

男子1500米

◦	(19:12.1)	Jack Medica	米	Colambus	25y
	(19:12.4)	本田惣一郎	日	甲子園	25m
	(19:24.0)	北村久壽雄	日	甲子園	25m
	(19:42.3)	石原田愿	日	甲子園	25m
1.	19:45.2	牧野正藏	日	Manila	50m
2.	19:48.0	本田惣一郎	日	Manila	50m
3.	19:51.0	北村久壽雄	日	Manila	50m
4.	20:20.4	永見達明	日	神宮	50m
5.	20:39.1	石原田愿	日	Manila	50m
6.	21:17.8	田中一男	日	神宮	50m
	(21:31.8)	小森正巳	日	神宮	50m
7.	臺記21:59.7	宮木利彦	日	臺北	50m
	西記(22:04.4)	Valeriano Ruiss	西	Madrid	30m
		Vilar	獨	Stuttgart	50m
8.	22:09.0	Kienzle	獨	Stuttgart	50m
	(22:12.0)	前川重樹	日	神宮	50m
	(22:22.5)	J. Jørgensen	丁	Kopenhagen	33 ¹ / ₃ m
9.	22:29.0	Calloway	比	Manila	50m
10.	22:44.1	齋川治久	日	屏東(臺灣)	50m

男子 100 米平泳

1.	米記 1:13.0	Walter Savell jr	米	New Hacon	25m
2.	1:13.4	John Schmieler	米	Detroit	25y
3.	1:13.8	Leonard Spence	英	Miami	55y
4.	1:15.9	Paul Schwarz	獨	Berlin	33 ¹ / ₃ m
5.	1:16.3	Karl Wittenberg	獨	Lichtenberg	25m
6.	瑞記 1:16.4	A. Svensson	瑞	Stockholm	———
7.	1:17.2	Witt	獨	Bremen	25m
8.	1:18.4	Kruithof	和	Rotterdam	25m
9.	1:18.8	Tiggemann	獨	Magdebrug	25m
10.	1:19.0	{Mezey	獨	Rotterdam	25m
		{Graf	獨		

男子 200 碼平泳

1.	2:26.8	Paul Schwarz	獨	Augusburg	25y
2.	2:28.4	小池禮三	日	香港	25y
	(2:29.4)	Walter Savell jr	米	Middleton	20y
3.	2:30.8	Walter Savell jr	米	Columbus	25y
4.	2:34.8	Kenneth Deguan	米	Mew Bruns- wick	25y
5.	2:35.2	Evert Weeks	米	New Bruns- wick	25y
6.	2:36.0	Victor Leventh- ritt	米	New-Brun- swick	25y
7.	2:36.2	Leonard Spence	英	New york	25y

順位	時間	氏名	國	場所	水路
8.	2:36.8	Harold White	米	Newark	25y
9.	2:38.0	Lester Kaplan	米	New York	25y
10.	2:38.8	A. C. Brown	米	New Brunswick	25y

順位	時間	氏名	國	場所	水路
5.	1:41.4	Gordon Chalmers	米	New Brunswick	25y
6.	1:42.0	John Wicklun	米	New York	25y
7.	1:43.0	Sandy Sinkiawicy	米	Detroit	25y
8.	1:44.3	C. F. Pierson	米	New Brunswick	25y
9.	1:45.0	R. T. Fischer	米	New Brunswick	25y
10.	1:45.3	William Giesén	米	New Brunswick	25y

男子200米平泳 (○印220y)

	(2:36.4)	小池 禮三	日	甲子園室内	25m
	(2:39.2)	小池 禮三	日	甲子園室内	25m
*1.	米記 2:43.5	Leonard spence	英	Columbus	25y
	(2:43.8)	小池 禮三	日	Manila	50m
2.	(2:43.8)	Paul Schwarz	獨	Magdeburg	25m
3.	2:44.0	Erwin Sietas	獨	Magdeburg	25m
4.	2:44.4	小池 禮三	日	神宮	50m
5.	2:45.6	Yldefonso	比	Manila	50m
	(2:46.4)	葉室 鐵夫	日	甲子園室内	25m
6.	澳記 2:47.1	Rainer Kellner	澳	—	—
7.	2:48.0	Arasad	比	Manila	50m
8.	2:48.4	Jikirim Adjaldim	比	Manila	50m
*9.	2:48.8	John Higgins	米	Columbus	25y
10.	2:49.8	葉室 鐵夫	日	神宮	50m

男子100米背泳

	(1:07.6)	清川 正二	日	甲子園室内	25m
	(1:08.0)	河津憲太郎	日	甲子園室内	25m
1.	獨歐記(1:08.4)	Erust Küppers	獨	Magdeburg	25m
*2.	1:08.9	Albert Vande Weghe	米	Columbus	25y
		(Dan Zehr 殆同着ニテ破ル)			
3.	1:10.0	G. C. Besford	英	Anvers	25m
	(1:10.4)	入江 稔夫	日	甲子園室内	25m
4.	極東記 1:10.8	河津憲太郎	日	Manila	50m
5.	1:11.3	清川 正二	日	Manila	50m
6.	1:11.7	W. Schumann	獨	Leipzig	25m
	(1:11.8)	明 文一	日	甲子園室内	25m
7.	1:12.0	明 文一	日	Manila	50m
8.	1:12.0	Caroly nagy	洪	Anvers	25m
9.	1:12.2	Simon	獨	Ohligs	25m
10.	1:12.3	Heiko Schwarz	獨	Magdeburg	25m

男子150碼背泳

1.	世記 1:36.9	Albert Vande Weghe	米	Columbus	25y
2.	1:38.1	Jaylor Drysdale	米	Columbus	25y
3.	1:40.2	Edward Stowell	米	New Brunswick	25y
4.	1:40.7	John Kaye	米	Los Angeles	25y

男子200米リレー

1.	1:47.0	早大	竹村、志村、阪上、高橋	日	神戸	50m
2.	1:51.2	日大	遊佐、森原、本村、豊田	日	振甫	50m
3.	1:51.2	關學		日	神戸	50m
4.	1:52.9	立大	鶴岡、篠塚、由本、根上	日	立大	50m
5.	臺記 1:54.4	臺北一中	平野、大塚、矢住、高尾	日	屏東	50m
6.	1:55.6	法大	藤田、内野、門田、富樫	日	神宮	50m
7.	1:57.4	八高		日	八高	50m
8.	1:58.4	關大	山尾、上野、國井、山尾	日	神宮	50m
9.	1:58.8	國大	岡田、龜井、山名、井上	日	玉川	50m
10.	1:58.8	大分高商	栗田、河波、片山、橋本	日	九大	25m

男子800米リレー

1.	9:17.6	日本	新聞、片岡、横山、遊佐	日	Manila	50m
	(9:24.2)	獨逸	A-Klasse Deit rs, Lenkitsch, Grün, Haas	獨	Magdeburg	25m
2.	9:28.6	日大	杉本、森原、中村、豊田	日	神宮	50m
3.	9:30.6	早大	新聞、牧野、横山、阪上	日	神宮	50m
4.	9:30.6	立大	根上、鶴岡、本田	日	神宮	50m
	(9:32.5)	獨逸	B-Klasse Faass Leisewitz, Heibel, Richter	獨	Magdeburg	25m
5.	9:35.2	早大	牧野、新聞、田中、志村	日	神戸	50m
6.	9:35.2	立大	鶴岡、篠塚、本田、根上	日	寶塚	50m
7.	9:45.8	慶大	田端、小森、前川、河石	日	神宮	50m
8.	9:48.0	Manly Club Herfrod, Scott, Smith, Ryan		豪	Sydney	55y

順位 時間 氏名 國 場所 水路

9. 9:50.0 法大 藤田、澁谷 日神宮 50m
 市村、富樫
 10. 佛記 9:51.6 France Paris, Guérin, Dierer. 佛 Paris 50m
 Joder

女子 100 碼自由形

1. 世記 0:59.8 Willemijntje den Ouden(17年) 和 Aarlns 25m
 2. 1:00.6 Margaret Joyce Cooper 英 Brisbane —
 3. 1:02.2 Kathleen Rassel 南阿 Durban —
 4. 1:03.4 Olive McKeane 米 Chicago 25y
 5. 1:04.8 Neville Frances Bult 濠 Brisbane —
 6. 1:05.4 Jennie Maakal 南阿 Pretoria 長水路
 7. 1:06.0 Evelyn de Lacy 濠 Adelaide —
 8. 1:06.0 Bernice Lapp (16年) 米 Newark 25y
 9. 1:07.4 Zilpha Grant (14年) 英 Manchester —
 10. 1:07.0 Murfin 米 Portland 25y

女子 100 米自由形

- (1:04.3) Willemijntje den Ouden 和 Rotterdam 25m
 1. 世記 1:04.8 Willemijntje den Ouden(17年) 和 Rotterdam 25m
 2. 1:04.8 Riek Mastenbroek 和 Paris 50m
 3. 1:09.2 Timmermanns 和 Rotterdam 25m
 4. 佛記 1:10.4 Renée Blondeau 佛 Pyaris 50m
 5. 獨記 1:11.0 Gisela Arendt 獨 Magdeburg 25m
 6. 濠記 1:11.6 Kitty McKay 濠 Sydney 55y
 7. 1:11.9 Lilli Andercen 丁 Kopenha- 33¹/₃m
 gen
 8. 1:12.2 Greta Brouwers 和 Rotterdam 25m
 9. 壬工記 1:12.3 Jrma Schramek 壬工 Berlin 33¹/₃m
 10. { 1:12.6 N. Mudde 和 Amsterdam 25m
 1:12.6 Ioppie Selbach 和 Aarlns 25m

女子 200 米自由形

- °1. 世記 2:27.6 Willemijntje den Ouden(17年) 和 Dundee 25y
 2. 2:29.6 Willemijntje den Ouden 和 Amsterdam 25m
 °3. 2:33.0 Dorothea Dickin- 米 New York 55y
 son
 °4. 2:35.0 Olive McKeane 米 Chicago 25y
 ° (2:35.4) Alice Bridges (17年) 米 Whitinsville 20y
 °5. 2:36.4 Lenore Kight 米 Chicago 25y

順位 時間 氏名 國 場所 水路

- °6. 2:37.4 Dolores Smith (15年) 米 New York 55y
 °7. 2:41.0 Riek Mastenbroek 和 Amsterdam 25m
 °8. 濠記 2:42.0 Margaret Joyce Cooper 英 Brisbane —
 9. 2:42.4 Joppie Selbach 和 Aarhus 25m
 °10. 南阿記 2:42.6 Jennie Maakal 南阿 Pretoria 長水路

女子 400 米自由形

(○印440碼)

- °1. 世記 5:30.0 Lenore Kight 米 Chicago 25y
 °2. 對世記 5:31.0 Jennie Maakal 南阿 Durban —
 3. 5:42.6 Lilli Andersen 丁 Aarlns 25m
 °4. 濠記 5:50.2 Margaret Jonce Cooper 英 Brisbane —
 °5. 新世記 5:54.6 Mcna Leydon (一脚不用) 新西 33¹/₃y
 °6. 5:55.4 Edna Davey 濠 Sydney
 7. 獨記 6:06.4 Hilde Salbert 獨 Charlott- 33¹/₃m
 enbeg
 8. 6:07.5 Käte Hanicke 獨 Leipzig 25m
 9. 西記 6:08.0 Carme Soriano 西 Barcelona 33¹/₃m
 10. 6:08.1 Ruth Halbguth 獨 Charlott- 33¹/₃m
 enbeg

女子 100 米平泳

(○印220碼)

1. 歐記 1:25.0 Else Jacobsen 丁 Aarhus 25m
 2. 1:27.0 Traute Eugelm- 獨 Charlott- 33¹/₃m
 ann enberg
 3. 1:27.6 Frausje Hessel 和 Amsterdsm 25m
 4. 1:28.2 前畑 秀子 日清洲 50m
 5. 1:28.6 Greta Brouwers 和 Amsterdam 25m
 6. 1:29.0 Inger Kragh 丁 Aarhus 25m
 7. 1:29.8 Hanni Hölzner 獨 Berlin 33¹/₃m
 8. 1:30.1 Erika Matthes 獨 Berlin 33¹/₃m
 9. 1:30.8 J. Verbeek 和 Amsterdam 25m
 10. 1:31.4 Greta Suchardt 獨 Berlin 25m

女子 200 米平泳

1. 獨記 3:04.0 Martha Genenger 獨 Ohligs 25m
 2. 3:06.0 Trante Engelmann 獨 Landsberg 25m
 3. 3:06.8 Kasiein 和 Rotterdam 25m
 4. 3:08.8 Fransje Hessel 和 Rotterdam 25m
 5. 3:09.3 Claire Dreyer 獨 Ohligs 25m
 6. 3:09.4 Greta Brouwers 和 Amsterdam 25m
 7. 3:10.0 Else Jacobsen 丁 Kopenhagen 25m
 °8. 3:10.2 Clare Dennis 濠 Sydney 50y
 9. 3:10.3 Lisa Rocke 獨 Magdeburg 25m

順位	時間	氏名	國	場所	水路
10.	3:10.6	前畑 秀子	日清	洲	50m

女子100碼背泳

1.	米記 1:09.8	Mrs Eleanor Holm Janett	米	Chicago	25y
2.	1:11.4	Alice Bridges	米	Chicago	25y
3.	1:13.0	Bonnie Mealiug	濠	Sydney	
4.	1:13.3	Jean Kolinski (15年)	米	Milwaukee	25y
5.	1:14.0	Edith Mortridge	米	Los Angeles	25y
6.	1:15.0	Olive Mc Kean	米	Seattle	25y
7.	1:16.4	Marie Jnciardi	米	New York	25y
8.	1:17.0	Lilpha Grant (14年)	英	Manchester	
9.	1:18.8	Marie Farguhar	南阿	Christchurch	33 ¹ / ₃ m
10.	1:20.0	Ruth Kerr	加	Detroit	25y

女子100米背泳

1.	1:21:6	Puck Oversloot	和	Rotterdam	25m
2.	1:21:6	Lilli Andersen	丁	Kopenhagen	
3.	1:21:8	N. Senff	和	Amsterdam	25m
4.	1:22:0	Riek mastenbroek	和	Paris	50m
5.	1:22:2	Elizabeth Valerie Davies	英	Aarhus	25m
6.	獨記 1:22:6	Aani Stoite	獨	Düsseldorf	25m
7.	獨記 1:22:7	Gisela Arendt	獨	Landsberg	25m
8.	1:22:8	Jove Ni lsen	丁	Aarhus	25m
9.	1:23:6	Ri k Mastenbroek	和	Amsterdam	25m
10.	1:24:2	Helms	和	Rotterdam	25m

女子400米リレー

1.	世記 4:33.3	Holland	和	Rotterdam	25m
	1:11.0	1:10.0	1:08.0	1:04.4	
	Selbach Timmermanns Mastenbroek deu Duden				
2.	歐記 4:41.2	Rotterdamsche Dames Zwemclub	和	Rotterdam	25m
	1:12.7	1:12.2	1:11.1	1:05.6	
	Laumeister Brouwers Timmermanns deu Ouden				
3.	4:50.0	Washington A.C. Brooks, Gilson, Buckley, McKeane	米	Nauconver	25m
4.	4:52.4	Deutschland A-Klasse	獨	Magdeburg	25m
	1:11.0	Arendt Kuppers-Erkens Ohliger Salbert			
5.	5:00.6	Deutschluad B-Klasse	獨	Magdeburg	25m

順位	時間	氏名	國	場所	水路
		Schulz I. Schröder Poilask Geerken			
6.	5:02.2	Berlin	獨	Kopenhagen	25m
		Holbgsuth, Salbert, Pollack Arenedt			
7.	5:03.0	Kopenhagen	丁	Kopenhagen	25m
		G. Nielseu Elli Larsen Frederiksen Audersen			
8.	5:15.0	Het Y. Amsterdam	和	Barcelona	33 ¹ / ₃ m
		Wagner I. Hesel Helms Wagner II			
9.	西記 5:27.0	Club de Natacio Barcelona	西	Barcelona	33 ¹ / ₃ m
10.	5:34.8	梶山女學園 小島、前畑 北島、鹽見	日清	洲	50m

漫 録

■夏休みになつてガラ空きになつた早大水泳部の第二合宿に泥棒が入つた、表玄關だけは體裁よく錠がおろしてあるが、裏の方はまるで開ケツピログだので泥君裏からコツソリ入つて、横山君と調子君高木君の水泳のメダルを全部とレインコートのボロボロのを三つ取つて行つたそうである。メタルと古いコートだけ持つて行くなんてずぶん風變りな泥棒だと思つたら、他には何にも無かつたからだそうだ。

■春季學生水球リーグ戦は毎年ながらシーズンの皮切りだが今年のリーグ戦には熱心な観客の多いのに驚かされた。初日に一人の帯木屋さんが水泳場に現れて背中に一杯背負つた帯木を入口の切符係りにあづけて水球を見やうとした。切符係りは神宮管理署に納める帯木だと思つて親切に『管理署はあちらですからあちらへ納めて下さい』と教へてやると帯木屋さんカブリを振つて『違ひますよ、私は帯木屋商賣ですが、水球が好きで水球が始まると、深川の店から信濃町の方へばかり商賣に来て水球を見るのが何より楽しみですヨ、水球つてこんな面白いもなアありませんネ、今日も暫くは商賣おあづけグ、此の荷物を預かつといて下さいヨ』との事、水泳ファンは掃いて捨てる程あるがこんな頼もしいファンは一寸珍らしい。

X. Y. Z

歐米の

最近の米國水泳界

今夏神宮で行はれる、日本選手権大會に招すべき米國三選手は既に新聞で發表されたが、新進の續々現はれてくる米國のことであるから七月シカゴで行はれる全米戶外、水上選手権競技の結果に依つては、或は顔觸れの變更があるかも知れない。今ハンドレー氏の種々の報告に依つて米國水泳界を見渡して見るに、最近最も著しい活躍を見せて居るのはメチカであらう。その主な成績を擧げてみると次の通りである。

400米自由形 4:43.2 (25碼プール)

此は牧野の公認記録 4:46.4 を破つて居るが50米水路に換算すれば4分50秒臺となりさして驚く程のものではない。

1000碼自由形 11:18.5 (25碼プール)

此を0米水路に換算すれば一ターンス一秒の得あるものとして、11:30.5となる。1000碼は約909米であるから此の割合で1000米を泳ぐとすれば長水路にて12:42.4となり北村の公認記録12:42.6を凌駕する。これは彼が北村牧野に對抗し得る實力の有ることを立派に證明するものであるからたとへ遠征の不利はあるにせよ、我が長距離軍は大に警戒しなければならぬ。更に此の途中880碼に於て9:56.4といふラツプタイムを示した。これは、我が牧野、北村、本田が甲子園の合宿で出した9:49.8 9:51.8 9:53.8に匹敵するものである。

440碼 4:46.8 (25碼) 世界新

此はギルフラの公認記録 4:48.6 を破つた堂々たるものであるが25碼プールで作られたものとしては餘り價値はない。

次に注目すべきは且て來朝したことのあるギルフラの活躍である。日本に



來た當時はハイスクールの學生であつたが今では南加大學生であり、米國インターカレッジの花形である。主な成績は

220碼自由形 2:13.2 (25碼プール)

1500米自由形 19:12.1 (25碼プール)

220碼の方は新聞、根上級であるから相當のものだし、1500米の方も50米プールに換算しても20分は切り得るから米國にとつて優秀な長距離選手であらう。

スペンス兄弟は昨年餘り振はなかつたが今年は花々しい返り咲きを見せてゐる。兄W、スペンスの方は、

220碼自由形 2:11.6 (25碼水路)

100碼自由形 0:51.1 (同)

同 0:50.0 (リレー中)

何れも世界記録に近い優秀なもので殊にリレー中ではあるが50秒、フラツトは公認記録を破つて居る。もし彼が戶外選手権をとれば、當然來襲を豫期しなければならぬ。我が短距離王、遊佐、宮崎の恢復の一日も早からんことを願ひたいものだ。尙、前記220碼自由形競泳に於ては頭一つの差でメチカが2着に入つてゐることも我々にとつて可なり脅威である。弟のLスペンスは専ら平泳で、

220碼 2:43.5 (25碼水路)

50米水路にすれば200米2:48.0となり我が葉室級に屬する。しかし極東の雄イルデフォンゾ、ヂキラムが來られなくなつた埋合せに、且ては世界記録保持者であつた彼の姿に一度したいものである。一番下のオーレイス、スペン

水泳界

スはこれと云ふ程の記録を出してゐない。尙前記スペンス兄弟と、例のピーター、フィツク及びハウラレドの四人は400碼リレーに3:31.6の世界新記録を出した。

三日始めに100米56.8といふ驚異的記録を作つたフィツクの名はその後餘り出て來ない所をみると大した活躍はしてゐないらしい。

來襲選手の一人である背泳のバン、デ、ウエーへは、

150碼 1:36.9 (世界新)

100米 1:08.9

で米國背泳界のトップであるが、彼が100米1:08.9を出したとき、タツチの差で2着になつたものに、ダン、ゼーブが居る。彼はオリムピツクのダークホースであつたことは有名だが、此の二人の他にドラステールを揃へた米國の背泳陣は我が清川、河津、入江のトリオに勝るとも劣らぬ堂々たるものである。併かも彼等三人は未來の選手であるだけに末恐ろしい。

以上の他、平泳の新進としてWザベルガ居る。彼は最近200碼で2:30.8の世界新記録を出して意氣軒昂たるものがあるさうだ。

一方飛込界に於ては、オリムピツクで活躍したRデゲナーが依然第一人者らしいが新人としてはフロリダのM.ウエーンが現れ、3米のスプリングボードに於て、

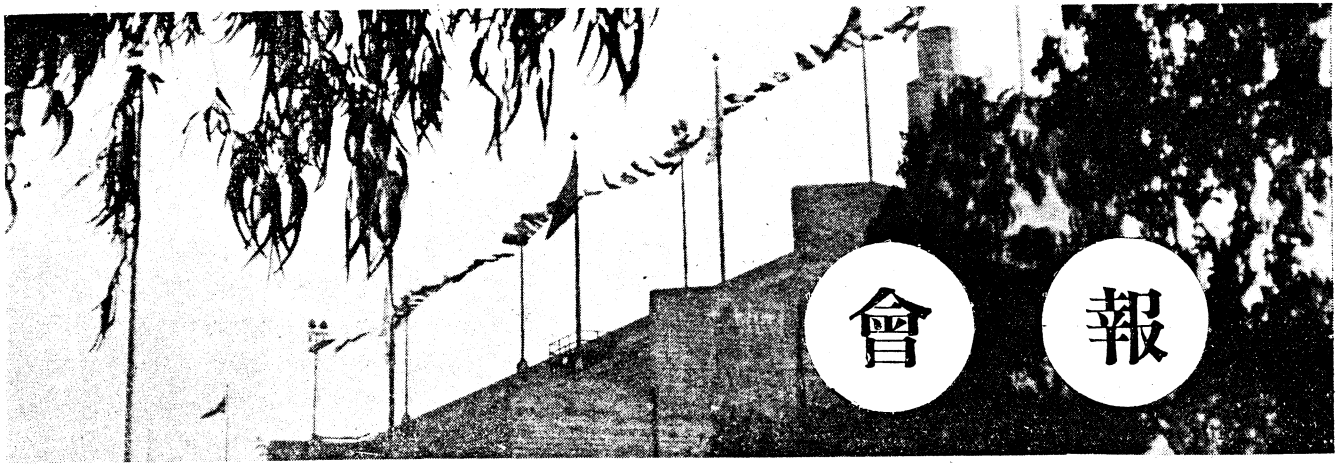
R. デゲナー 160.64

M. ウエーン 160.38

だつたといふからこれも飛込界の第一線に立つ人であらう。

女子水泳界に眼を轉ずるに、先づ眼につくのはE.ホルム夫人である。即ち最近シカゴのレークシヨアー25碼水路に於て、100碼背 1:10.4 (世界新)

(5頁に續く)



N S R 公 示 事 項

昭和九年度日本選手権水上競技大會要項

今年度選手権大會は飛込・競泳・水球の各競技毎に別個に三つの大會を開催する事に決定。開催要項は次の通りであります。

一、全般に関する注意事項

本聯盟加盟團體は代議員會の決議に依り、地方豫選を開催する義務がありますが、今年は水球のみは地方豫選を行はず直接選手権大會へ申込み事になりましたから、水球地方豫選は行ふ必要ありません。

選手権大會に参加するものは必ず何れかの地方豫選會を通過する事が必要であります、即ち必ず競技を行ふ必要があり、推薦のみに依る参加は、許されません（但し米國より來朝する選手は除く）

各加盟團體より参加し得べき人員は次表の通りであります。

	個人競泳	リレー	飛込競技
Aクラス加盟團體	六名	三組	六名
Bクラス加盟團體	三名	一組	三名

尚ほ東部中等學校水上競技會及び關西中等學校水上競技會入賞者(所定の申込手續を要す)

六名三組

前年度選手権保持者の優遇方法に關しては、競技々術的見地から、直接決勝に参加せしむる事は止めて、單に地方豫選を通過する必要を認めざる事に改めました。即ち本競技の豫選は出なければならぬのであります。全般を通じて競技規定は昭和九年度新版の水上競技規定（七月五日發行）を用ひます。先に本聯盟雜誌『水泳』二十三號會報にも改正要項を發表しましたが飛込・水球に關しては著しく改正されて居りますから御注意願ひます。

申込用紙は本聯盟所定のものを使用されたく、殊に必ず加盟團體より申込むと云ふ手續を完全にする意味を以て申込加盟團體記入欄への書込を間違ひない様にやつて下さい。締切期日は餘裕のない迄に切つめてありますから絶対嚴守いたします。競泳の申込はリレーを除き一人に付き二種目迄です。

二、飛込競技選手権大會

期日 昭和九年八月四日(土)五日(日)晝間
場所 東京市明治神宮外苑水泳場飛込プール
種目 男子飛板飛込(規定飛五・選擇飛五)
男子高飛込(規定飛四・選擇飛四)
女子飛板飛込(規定飛三・選擇飛三)
女子高飛込(規定飛四)
新規定に依る中等種目は本年は舉行致しません。但初等

種目は選手権大會當日に(選手権に非ず)行ふ豫定でありませんが、地方豫選は行ひません。

選擇飛 参加申込と同時に別送した所定の選擇飛申込用紙を以つて必ず選擇飛を申込んで下さい。

規定飛 前年度に同じ。飛込の名稱變更あり(本誌23號所載)水上競技規定御参照下さい。

申込締切 昭和九年八月一日 NSR事務所に到着

三、初等飛込競技大會

飛込競技の發達を期し、初等競技者に試練の機會を與へる爲に、今年度選手權大會を期し全國初等飛込競技大會を舉行致す事に決定致しました。此の會は丁度選手權大會と同日に行ふだけであつて初等飛込の日本選手權と言ふわけではありません。此を機會に殊に地方の選手諸君の参加を希望する次第であります。

期日 八月四日(土) 五日(日) 日本選手權大會と同時に舉行

場所 明治神宮水泳場飛込プール

種目

- 初等男子飛板飛込(規定飛四種選擇飛三種)
- 初等女子飛込(規定三種選擇飛二種)
- 初等男子高飛込(規定飛三種選擇飛なし)

初等女子高飛込(規定飛三種選擇飛なし)

規定飛及び選擇飛 本誌前號の會報に發表の初等飛込競技規則に依つて行ふ(新刊本年度競技規程参照)

出場資格 NSRにて選定せる飛込競技ベスト・テン表中ベスト5(女はベスト3)以内に収録せられたる事あるもの、及昨年の明治神宮競技初等飛込競技優勝者以外は此競技に出場出來ます。

申込 此競技は地方豫選を必要としませんが、申込に當り必ず本聯盟加盟團體を通じ本聯盟所定の申込用紙飛込競技種目の前に『初等』と朱書して、本聯盟事務所宛八月一日に到着する様、且選擇飛の申込を同時に忘れぬ様に添へて御出し下さい。

四、競泳競技選手權大會

今年は特に競泳の選手權大會に米國の最強チーム、ハイランド、メデイカ、ヴァン・デ・ウエーへ、監督キツパスの四氏を招聘し、一方に歐洲選手權大會の行はれる時に當つて、日米が相見へて第十一回オリンピックに對する我實力の自己反省を行つて見たいと思ひます。

期日 八月十一日(土) 十二(日) 十三(月) 夜間

場所 明治神宮外苑水泳場(競泳水路五〇米)

種目

男子競技種目

- 自由形 100、200、400、1500米
- 背泳 100、200米
- 平泳 100、200米

リレー 800米

女子競技種目

- 自由形 100、200、400米
- 背泳 100米
- 平泳 200米
- リレー 400米

競技順序並に開始時刻は次の豫定に従ひます、勿論各地の申込が終つた後に改めて決定さるべきものではありませんが競技の順序のみは變更しないで行ふ積でありますから申込に當つては出場の順序を考慮の上、棄權のない様に願ひます。

昭和九年度競泳競技選手權大會豫定プログラム

第一日					第二日					第三日				
1	男	200自豫	3組	6:00	1	男	400自豫	3組	6:00	1	男	400自準	2組	6:00
2	男	100背豫	3	6:25	2	男	100背決	1	6:35	2	女	200自豫	2	6:15
3	男	100平豫	4	6:45	3	女	400自決	1	6:45	3	男	100自準	2	6:30
4	女	100自豫	2	7:05	4	男	100平決	1	6:55	4	男	200背準	2	6:40
5	男	1500自豫	3	7:15	5	男	100自豫	4	7:05	5	女	100背豫	2	6:55
6	女	200平豫	2	8:25	6	女	200平決	1	7:25	6	男	200平準	2	7:10
7	男	200自準	2	8:45	7	男	1500自決	1	7:35	7	男	400自決	1	7:25
8	男	100背準	2	8:55	8	男	200背豫	3	8:00	8	女	200自決	1	7:35
9	女	400自豫	2	9:10	9	女	100自決	1	8:20	9	男	100自決	1	7:45
10	男	100平準	2	9:30	10	男	200平豫	4	8:30	10	男	200背決	1	7:55
		終了		9:40	11	男	200自決	1	9:00	11	女	100背決	1	8:05
		通計時間		3:40			終了		9:10	12	男	200平決	1	8:15
							通計時間		3:10	13	女	リレー決	1	8:25
										14	男	リレー決	1	8:40
												終了		8:55
												通計時間		2:55

申込 八月三日迄にNSR事務所到着の事
一人に付二種目迄、但リレーを除く
リレーはチームとしての資格を認める故に、豫選の時と

異つたメンバーであつても差支へありませんが、選手権大會に出場すべきメンバーは規定に従ひ六名迄を定めて申込む必要があります。

五、水球競技選手権大會

今年度水球競技選手権大會は地方豫選を行はずに直に本大會を擧行いたします。

期日 八月十八日(土)十九日(日) 晝間

場所 明治神宮外苑水泳場

但申込み多き時は、豫選を行ふに必要なるだけ早く開始し、且場所も明治神宮外苑以外の所を使用しなければなりませんから、左様御含み置き願ひます。日程に就ては八月

十日頃迄に發表致します。

申込 チーム・エントリー、各地からチームを出すか出さぬか、又幾チームを出すかが早く判らないと組合せも日程も出来ぬ事になりますから、チーム・エントリーは必ず八月三日迄にNSR事務所到着の事

メンバー提出 八月十四日迄 同上

勿論各加盟團體を通じて申込む必要があります。

六、特別注意

豫選會終了後各加盟團體より申込むに當つては何卒責任をもつて其競技者の出場の有無を必ず確めて後にせられる様、此點を特に嚴重に御願ひ致します。申込競技者の不參着に依る意味ない棄權が少なくなります事は競技向上の必須條件の一つでありますから。

編輯後記

吾々日本の選ばれたる戦士が、マニラに於て水上競技に、また會議に、ベストを盡してよく戦はれた経過をまたその成果を、雑誌二十五號として水泳同好の士に贈らうとするに當つて吾々編輯委員もまた敬虔な心持をもつて最全を盡した號を送り出したいものと志して編輯に取り掛つたのであつたが折から矢繼早やに行はれる競技會準備に追はれ追れてまことに意餘つて筆足りず、遂に月を越して了つたことを愛讀者諸子にお詫する次第です。

愈々シーズンも最高調に到し。來朝諸豪と神宮のプールで技を競ふのも數日に迫つてゐる。吾が選手諸君もよく戦ひ必ずや期待以上の成果をおさめて呉れるであらう。

選手権大會の報告・來朝選手の記事・キツバス監督の感想等來月號こそ大いに充實した號を諸子の許に届けて満足した心持ちでその後記には大いに味噌をならべたい事を編輯子として願てゐる。

本號は極東大會記事で満載となつた爲、前號來續いて掲載の競泳座談會「クロール」篇と、御多忙中本誌に寄せられた森秀臣氏の「海の神秘」は次號に送るの止むを得なかつた事をお詫び旁々、附記して置く。(柴田)

プール公認の件

公認第三十號 袋井商業學校競泳池
所在地 静岡縣磐田郡袋井町高尾
所有者 静岡縣立袋井商業學校校友會
公認申請者 静岡縣立袋井商業學校校友會
公認距離 長二十五米、幅十三米、水深二米一二、二米一一、二五米
出發臺の高 五十糎、水質淡水(井戸水)
水路數 六コース 水路幅二米
昭和九年一月十七日より昭和拾四年一月十六日迄五ヶ年間甲種競泳池として公認さる

日本水上競技聯盟機關雜誌 水泳 第二十五號

定價 三十錢 一年八回發行

豫約申込者に限り頒布す (一年前金豫約) (送料不要)

廣告料 十圓乃至三十五圓

御申込次第詳細回答

昭和九年八月八日納本

昭和九年八月十日發行

編輯兼發行人 鶴岡英吉
(日本水上競技聯盟代表)

印刷者 君島潔

印刷所 共同印刷株式會社

東京市小石川區久堅町一〇八

申行並 東京市麴町區丸ビル 805
發込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替貯金東京三九九一九番